sound.vision.soul

DVD プレーヤー

DV-353
DV-F350

このたびは、パイオニア製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、お客様に快適に楽しんでいただける様、過去弊社の DVD プレーヤーをお買い求めいただいたお客様の声を「Q&A」として随所に盛り込んでおります。
どうぞご一読ください。

さっそくDVDを見る
各部のなまえとはたらき
DVD の再生
MP3 の再生
ビデオ CD の再生
CD の再生
音場設定
接続
簡単設定
初期設定
基礎知識
付録

お客様登録のご案内

http://www3.pioneer.co.jp/members/

お買い上げいただきました製品についての**「お客様登録」**をお願いいたします。ご登録いただきますと、プレゼントや懸賞商品が当たるキャンペーン/イベント情報や各種製品情報などのご案内をさせていただきます。
また、ご登録いただきますとIDが発行され、お役に立つ情報満載のお客様専用ページにアクセスすることができます。
ご登録は上記URLにアクセスしてご利用ください。

新規登録されたお客様には、毎月プレゼントを抽選にて差し上げております。詳しくは、上記URLにアクセスしてください。

取扱説明書

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。本機の性能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」「安全上のご注意」は、「保証書」と一緒に必ず保管してください。

安全上のご注意（絵表示について）

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると､人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると､人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

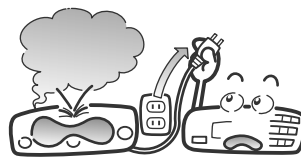
△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

警告[異常時の処理]

プラグを抜く

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜く

● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜く

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

もくじ

さっそくDVDを見ましょう！... 4

ポイント①: すぐに使いたい！
「何から始めたら良いかわからない！」、「とりあえず早くDVDを見たい！」というときご覧ください。

ポイント②: 困った!
項目ごとにQ＆Aがあります。「なぜ？」「どうして？」というとき参考にしてください。

こんなこともできます........... 12

ポイント①: 簡単検索！
P.12-13では、本機のいろいろな使いかたや機能などを一覧でのせています。もくじとしてお使いください。

ポイント②: もっと使いたい！
「こんなことがしたい！」「こんなことはできる？」と思われたときにご覧ください。

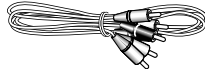
知っておくと役に立つ基礎的な情報をのせています。もっとDVDのことを知りたいと思われたら、ぜひ読んでみてください。

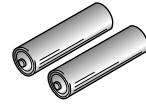
Q&A、索引、および初期設定一覧などがあります。

さっそくDVDを見ましょう！

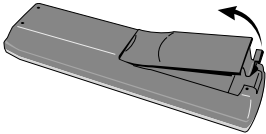
1 付属品の確認をしましょう

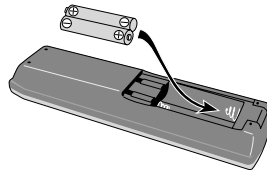
リモコン

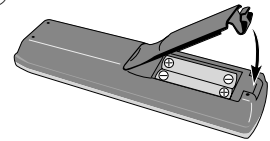
オーディオ・ビデオコード

電源コード

単3形乾電池（R6P・2本）

- **保証書**
- **安全上のご注意**
- **取扱説明書(本書)**
- **接続設定案内(DV-F350のみ)**

2 リモコンに電池を入れましょう

①

裏ブタのタブを押しながら矢印の方向へ開く。

②

ケース内に表記されている極性⊕(プラス)/⊖(マイナス)を合わせて、乾電池を正しく入れる。

③

フタを矢印の方向に閉める。

注意

- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間（1ヵ月以上）リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭きとってから新しい乾電池を入れてください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って処理してください。

H048 Ja

3 テレビに接続しましょう

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

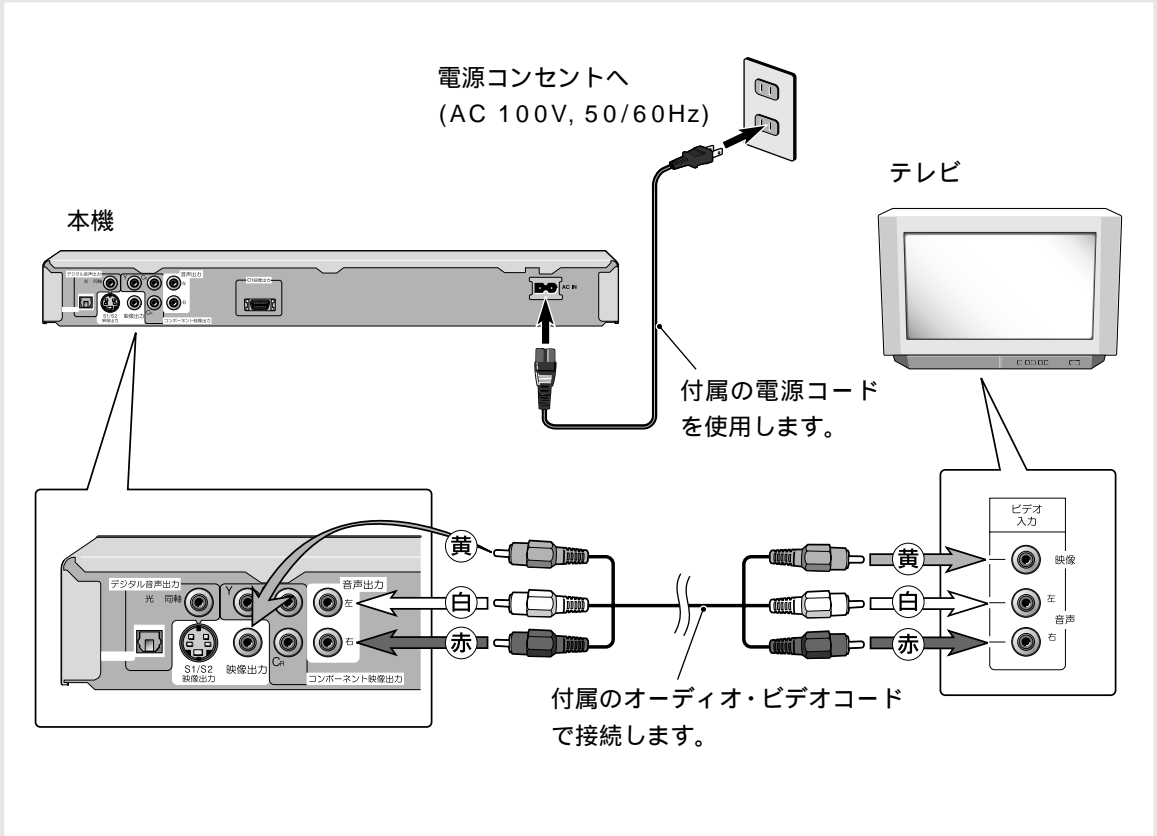
電源コンセントへ
(AC 100V, 50/60Hz)

テレビ

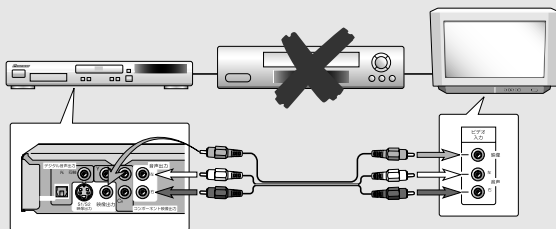
本機

付属の電源コード
を使用します。

黄
白
赤

付属のオーディオ・ビデオコード
で接続します。

注意

本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。

本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピーガードによって正常な再生ができないことがあります。詳しくはお使いのテレビメーカーにお問い合わせください。

Q&A

Q1: 5.1チャンネルサラウンドサウンドを楽しみたい！どんな接続をしたらいいですか？

→ P.45をご覧ください。

Q2: S映像端子に接続できますか？

→ できます。別売りの専用ケーブルが必要です。P.47をご覧ください。

Q3: コンポーネント映像端子に接続できますか？

→ できます。別売りの専用ケーブルが必要です。P.47をご覧ください。

Q4: D映像端子に接続できますか？

→ できます。別売りの専用ケーブルが必要です。P.47をご覧ください。

Q5: モノラル音声入力端子に接続できますか？

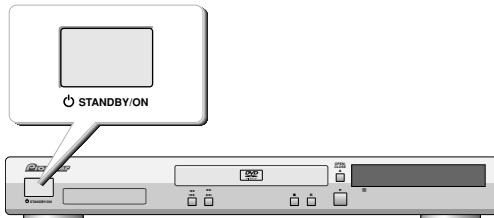
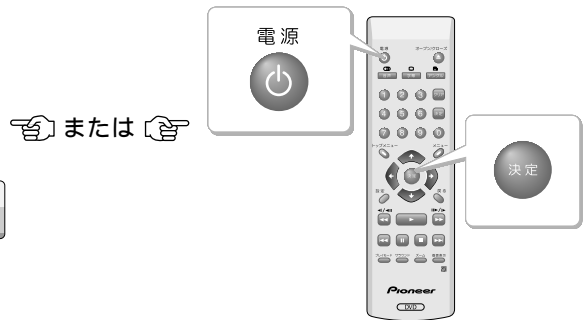
→ できます。別売りの専用ケーブルが必要です。P.46をご覧ください。

4 テレビの電源を入れましょう

テレビのリモコン、またはテレビ本体の電源ボタンで電源を入れます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

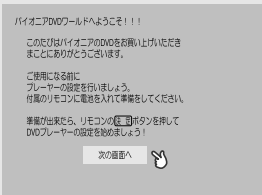
5 テレビの入力を切り換えましょう

テレビのリモコン、またはテレビ本体の入力切換ボタンで切り換えます。例えば、本機をテレビのビデオ入力 2 端子に接続したときはビデオ入力 2 を選びます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

6 電源を入れましょう

テレビ画面に下記のように表示されれば映像の接続はOK!

①まず[Pioneer]が表示されます。

⬇

②次に下記の画面が表示されます。

③リモコンの決定ボタンを押して 7 に進みます。

Q&A

Q1: 電源が入らない！
→ 電源コードが正しくコンセントに接続されていますか？(**P.5**)

Q2: 映像が映らない！
→ オーディオ・ビデオコード(黄)が正しく接続されていますか？(**P.5**)
→ テレビの入力切換を合わせましたか？接続したビデオ入力に合わせてください。

Q3: リモコンで操作できない！
→ 本体との距離が離れすぎていませんか？約7mの範囲でのみ操作することができます。
→ リモコンをテレビに向けて操作していませんか？本体のリモコン受光部に向けて操作してください(**P.14**)。

メモ

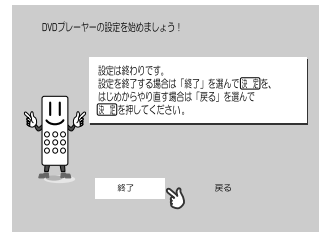
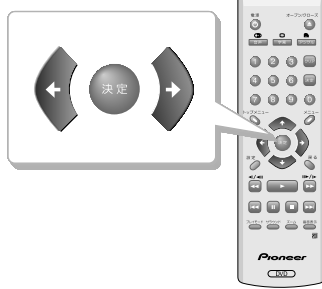
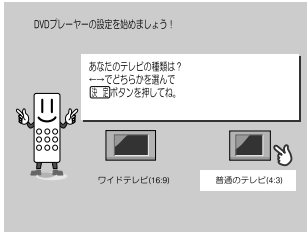
本機の操作(本体、またはリモコンで)を5分以上しないとテレビ画面にスクリーンセーバーが表示されます。

7 テレビの種類を選びましょう

お使いのテレビが[ワイドテレビ(16:9)]か[普通のテレビ(4:3)]かを選択します。

DVDプレーヤーの設定を始めましょう！
あなたのテレビの種類は？
←→でどちらかを選んで
決定ボタンを押してね。
ワイドテレビ(16:9)　普通のテレビ(4:3)

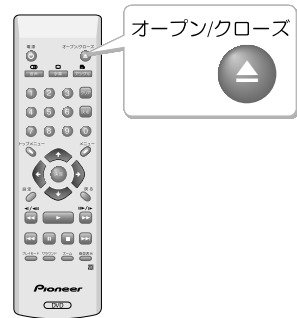
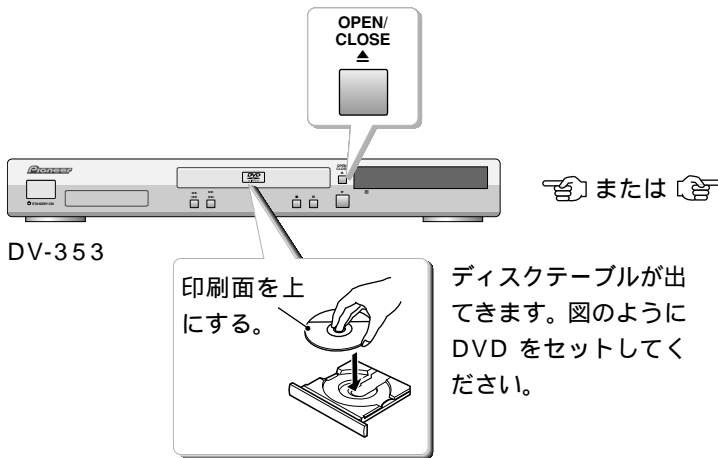
リモコンの ⇦ ⇨ で選択。
決定ボタンで次の画面へ。

リモコンの ⇦ ⇨ で選択。
決定ボタンで設定[終了]、または最初の画面に[戻る]。

メモ

- [***DVD の設定を始めましょう！***]は、一度設定すると次に電源を入れたときは表示されません。
- [***DVD の設定を始めましょう！***]終了後、テレビの種類を変更したいときは、初期設定の**[テレビ画面]**(**P.52**)で設定してください。

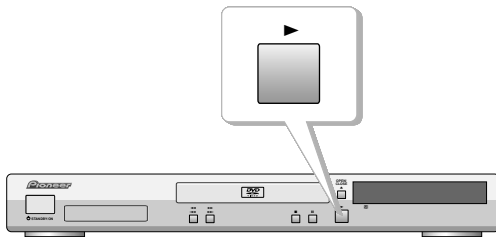
8 DVD をセットしましょう

本体の OPEN/CLOSE ▲ ボタンを押す。

リモコンの ▲ オープン / クローズボタンを押す。

DVD をセットしたら、本体の **OPEN/CLOSE▲ボタン**(またはリモコンの **▲オープン / クローズボタン**)を押して、ディスクテーブルを閉めます。

メモ

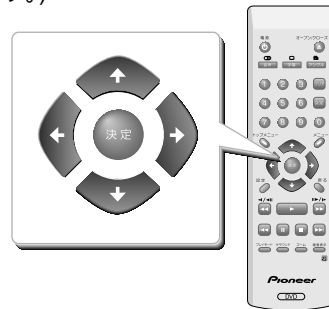
- ディスクテーブルを閉めると自動的に再生を始める DVD もあります。
- 本体の **OPEN/CLOSE ▲ ボタン**を押して電源を入れることもできます。

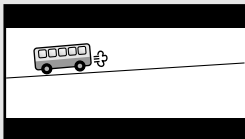
9 それでは DVD を再生しましょう！

DVD のメニュー画面が表示されたら･･･

再生を始めると最初にメニュー画面を表示する DVD があります(メニュー画面の内容や操作方法は DVD によって異なります)。

こんな画面が表示されたら･･･。

Main Menu
1 本編Start
2 Chapter List
3 字幕
4 音声
5 Highlight Clips

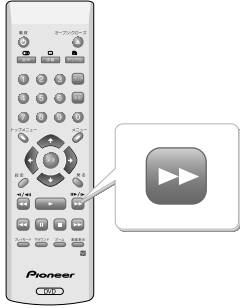
リモコンの ⇧ ⇩ ⇦ ⇨ で選択。決定ボタンで決定。(リモコンの数字ボタンで番号を選択して再生することもできます。)

メモ

下記のように画面の上下に帯がつく DVD があります。本機の故障ではありません。

Q&A

Q1: ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう！
Q2: 再生できない！

- → DVD がディスクテーブルに正しくセットされていますか？
- → DVD が汚れていませんか？ DVD をクリーニングしてください。
- → DVD の表裏が正しくセットされていますか？
- → リージョンNo.が一致していますか？本機で再生できるリージョン No. は **「2」** と **「ALL」** のみです(**P.62, 67**)。
- → 本機の内部に結露が付いている可能性があります。結露を除去してください(**P.64**)。

10 ちょっと場面を進めたいときは早送りしましょう

リモコンの ►► ボタンを押す (または本体の ►► ►►| ボタンを押し続ける)。

1 回押すと･･･速い
[スキャン 1 ►►]とテレビ画面に表示されます。

⬇

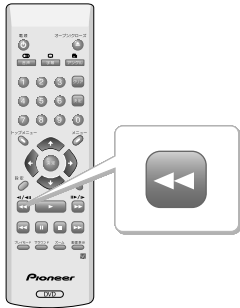
2 回押すと･･･もっと速い
[スキャン 2 ►►]とテレビ画面に表示されます。

⬇

3 回押すと･･･さらに速い
[スキャン 3 ►►]とテレビ画面に表示されます。
(本体では**スキャン 1** のみ)

見たい場面まで進めたら ► ボタンを押す(本体の ►► ►►| ボタンのときは指を離す)。

11 ちょっと場面を戻したいときは早戻ししましょう

リモコンの ◄◄ ボタンを押す (または本体の |◄◄ ◄◄ ボタンを押し続ける)。

1 回押すと･･･速い
[スキャン 1 ◄◄]とテレビ画面に表示されます。

⬇

2 回押すと･･･もっと速い
「スキャン 2 ◄◄」とテレビ画面に表示されます。

⬇

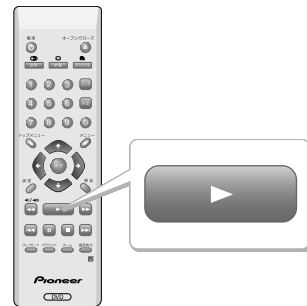
3 回押すと･･･さらに速い
「スキャン 3 ◄◄」とテレビ画面に表示されます。
(本体では**スキャン 1** のみ)

見たい場面まで戻したら ► ボタンを押す(本体の ►► ►►| ボタンのときは指を離す)。

12 ちょっと休憩というときは一時停止しましょう

リモコンまたは本体の II ボタンを押す。

☞

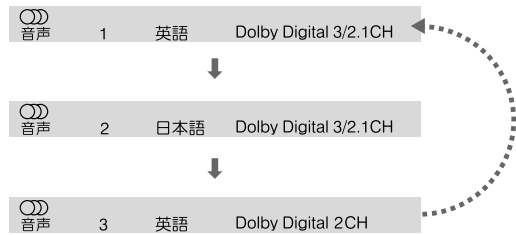
通常の再生に戻すときは ►、または II ボタンを押す。

13 字幕スーパー版の映画を吹き替え版にしましょう

ここでは英語と日本語が収録されているディスクを例に説明します(ディスクによって収録されている言語数が異なります)。DVDによってはリモコンで音声や字幕を切り換えられないものがあります。このようなときはDVDのメニュー画面で切り換えることができます(P.8)。

音声を切り換えましょう

ここでは英語で聞こえる台詞を日本語にしましょう(もちろん複数の言語が収録されているDVDでは他の言語を選ぶこともできます)。

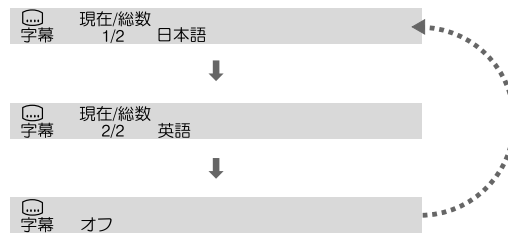
DVDを再生しているときにリモコンの音声ボタンを押す。

押すたびに下記のように切り換わります。

＊ 3/2.1CHはディスクに記録されている音声のチャンネル数です。詳しくはP.67をご覧ください。

字幕を切り換えましょう

音声の切り換えで台詞を日本語にしたので字幕はオフを選びます(もちろん複数の言語が収録されているDVDでは他の言語を選ぶこともできます)。

DVDを再生しているときにリモコンの字幕ボタンを押す。

押すたびに下記のように切り換わります。

＊ 字幕が収録されていないときは[__ __](アンダーバー)が表示されます。

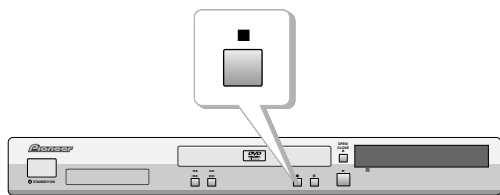
メモ

- ここで切り換えた音声、または字幕の設定は、下記のようなとき初期設定画面(P.54)の設定に戻ります。
  ⇨ リジューム機能(P.11)を解除したとき
  ⇨DVDを取り出したとき(P.11)
- 再生中のDVDによっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になることがあります。

それでは思う存分DVDの世界を楽しんでください！

14 DVDを停止しましょう

本体の■ボタンを押す。

または

リモコンの■ボタンを押す。

■ボタンを1回押すと表示窓に･･･

STOP ➡ RESUME

･･･と表示され､停止した場所を記憶します(リジューム機能)。次に再生したときは停止した場所から再生します。DVDを取り出すとリジューム機能は解除されます。

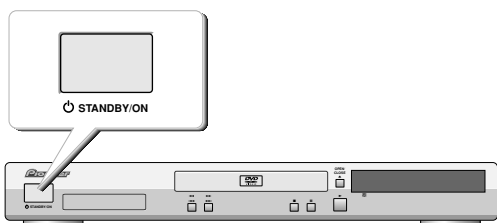
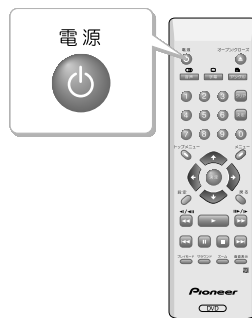
停止中に**■ボタン**をもう一回押すと表示窓に･･･

DVD

･･･と表示され、リジューム機能が解除されます。次に再生したときはDVDの最初から再生します。

15 電源を切りましょう

電源を切る前にDVDを取り出しましょう。リモコンの**▲オープン/クローズボタン**(または本体の**OPEN/CLOSE▲ボタン**)を押して、ディスクテーブルを開けてから取り出します。

本体の⏻STANDBY/ONボタンを押す。

リモコンの⏻電源ボタンを押す。

リモコンの⏻**電源(本体の⏻STANDBY/ON)ボタン**を押すと表示窓に･･･

–OFF–

･･･と表示されます。

メモ

電源コードをコンセントから抜くときは､本体表示窓の**[-OFF-]**表示が消えていることを確認してください。**[-OFF-]**表示中に抜くと本機の設定が工場出荷時状態に戻ることがあります。

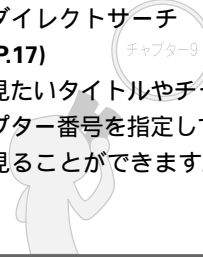
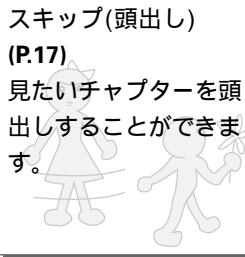
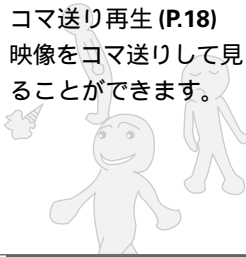
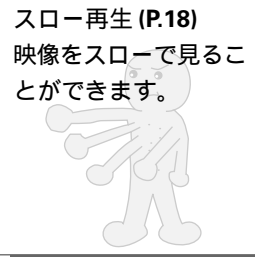
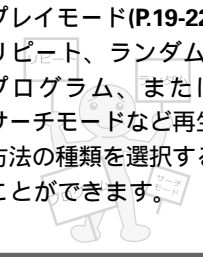
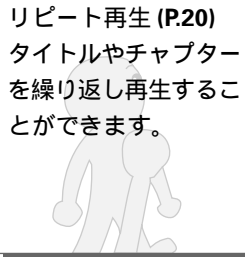
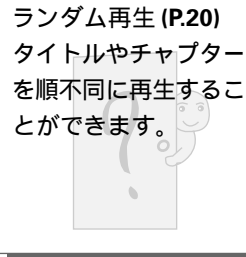
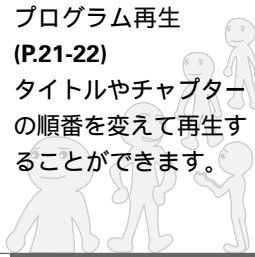
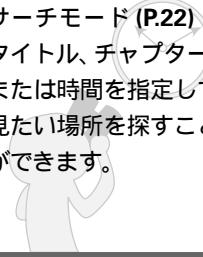
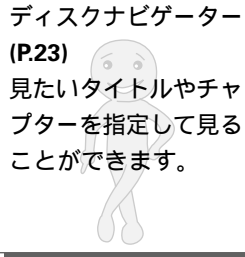
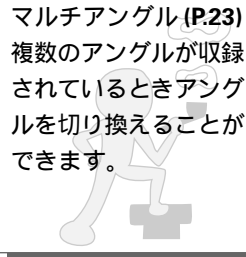
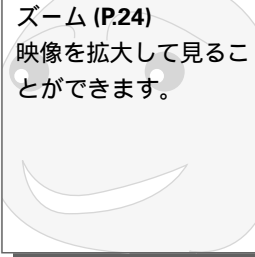
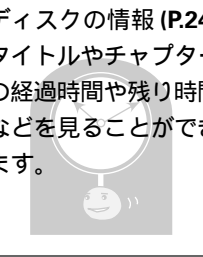
Q&A

Q1: 電源が自動的に切れてしまう

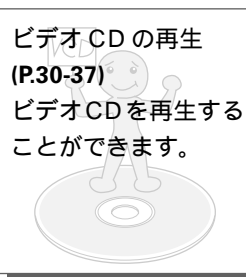
→ ディスクを再生していないとき(ディスクテーブルが閉まっている状態) で30分以上本体、またはリモコンの操作をしないと､電源が自動的にスタンバイ状態になります(**オートパワーオフ機能**)。

こんなこともできます

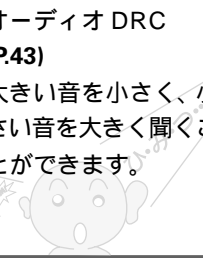
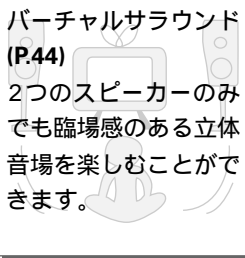
DVDにはこんな再生のしかたもあります

ダイレクトサーチ(P.17)
見たいタイトルやチャプター番号を指定して見ることができます。

スキップ(頭出し)(P.17)
見たいチャプターを頭出しすることができます。

コマ送り再生 (P.18)
映像をコマ送りして見ることができます。

スロー再生 (P.18)
映像をスローで見ることができます。

プレイモード(P.19-22)
リピート、ランダム、プログラム、またはサーチモードなど再生方法の種類を選択することができます。

リピート再生 (P.20)
タイトルやチャプターを繰り返し再生することができます。

ランダム再生 (P.20)
タイトルやチャプターを順不同に再生することができます。

プログラム再生(P.21-22)
タイトルやチャプターの順番を変えて再生することができます。

サーチモード (P.22)
タイトル、チャプター、または時間を指定して見たい場所を探すことができます。

ディスクナビゲーター(P.23)
見たいタイトルやチャプターを指定して見ることができます。

マルチアングル (P.23)
複数のアングルが収録されているときアングルを切り換えることができます。

ズーム (P.24)
映像を拡大して見ることができます。

ディスクの情報 (P.24)
タイトルやチャプターの経過時間や残り時間などを見ることができます。

こんなディスクも再生できます

MP3の再生 (P.25-29)
MP3ファイルが記録されているCD-ROMを再生することができます。

ビデオCDの再生(P.30-37)
ビデオCDを再生することができます。

CD(CD-R/RW)の再生(P.38-42)
CD、またはCD-R/CD-RWを再生することができます。

こんな機能もあります

オーディオDRC(P.43)
大きい音を小さく、小さい音を大きく聞くことができます。

バーチャルサラウンド(P.44)
2つのスピーカーのみでも臨場感のある立体音場を楽しむことができます。

こんな接続のしかたもあります

5.1ch サラウンドサウンド接続 (P.45)
AV アンプなどとデジタル接続して 5.1ch 音声を楽しむことができます。

デジタル音声端子の接続 (P.46)
デジタル音声入力端子のある AV アンプなどとデジタル接続することができます。

アナログ音声端子の接続 (P.46)
2ch アナログ音声入力端子やモノラル音声入力端子のあるテレビなどと接続することができます。

映像端子の接続 (P.47)
コンポーネント映像入力端子、D 映像入力端子、S 映像入力端子を持っているテレビなどと接続することができます。

こんな設定が変更できます

セットアップナビゲーター (P.48-49)
本機と AV アンプを接続したときに必要な設定を簡単に行うことができます。

デジタル出力の設定 (P.50-51)
デジタル音声出力端子から音声を出力しない設定や、接続したアンプが対応しているデジタル信号の種類を選択することができます。

テレビ画面 (P.52)
接続したテレビのサイズ(16:9= ワイド、または 4:3 = 従来サイズ) を選択することができます。

S 映像出力 (P.53)
S映像出力端子から出力される映像信号を切り換えることができます。

音声言語 (P.54)
初期設定画面で音声言語を変更することができます。

字幕言語 (P.54)
初期設定画面で字幕言語を変更することができます。

DVD メニュー言語 (P.55)
DVD に収録されているメニューを表示させる言語を変更することができます。

字幕表示 (P.55)
字幕を表示しないようにすることができます。

画面表示言語 (P.56)
初期設定画面などに表示される言語を切り換えることができます。

画面表示 (P.56)
画面に操作表示(「再生」、「停止」など)をしないようにすることができます。

アングルマーク表示 (P.56)
再生中に表示されるアングルマークを表示しないようにすることができます。

視聴制限 (P.57-59)
暴力シーンなどを収録した DVD の視聴を制限することができます。

初期化 (P.59)
本機のすべての設定を工場出荷時に戻すことができます。

各部のなまえとはたらき

本体前面

本体背面

表示窓

DTS音声を選択して再生しているときに点灯

初期設定、メインメニュー、ディスク情報などを表示しているとき点灯

アングルを変更できる場面で点灯(DVDのみ)

タイトル番号が表示されているとき点灯(DVDのみ)

▯▯V/TruSurroundが選択されているとき点灯(P.44)

トラック番号が表示されているとき点灯

チャプター番号が表示されているとき点灯

TITLE TRK CHP REMAIN

DTS GUI ▯▯D ▶ ❚❚

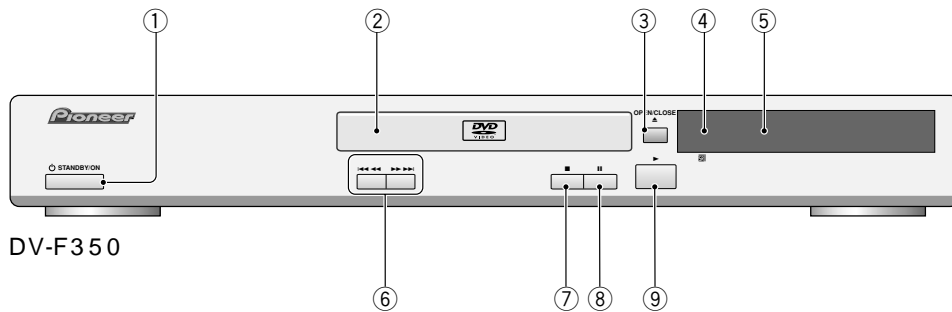
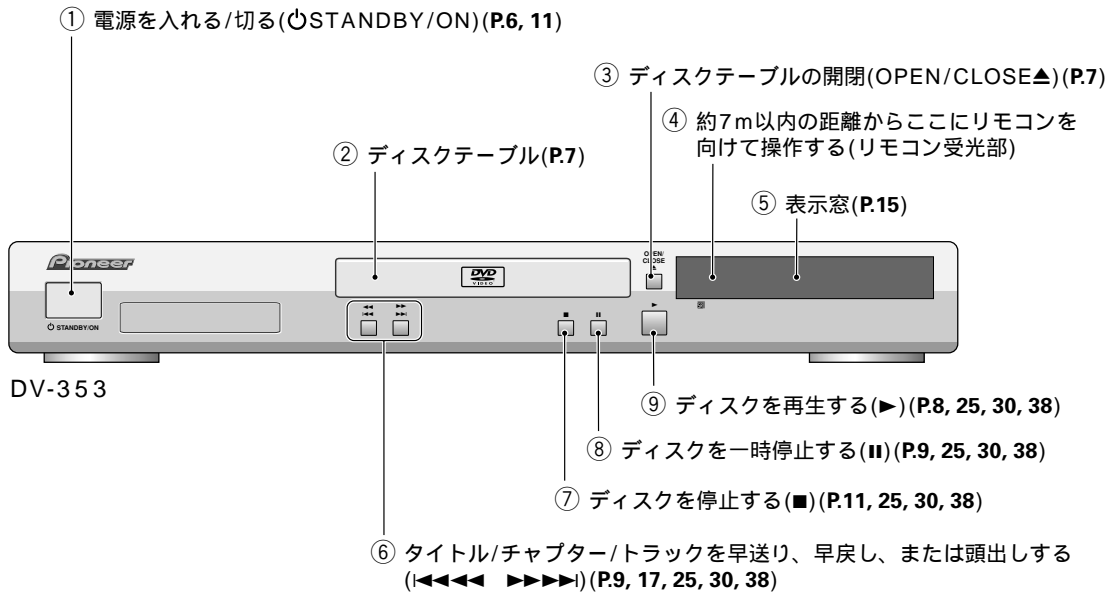
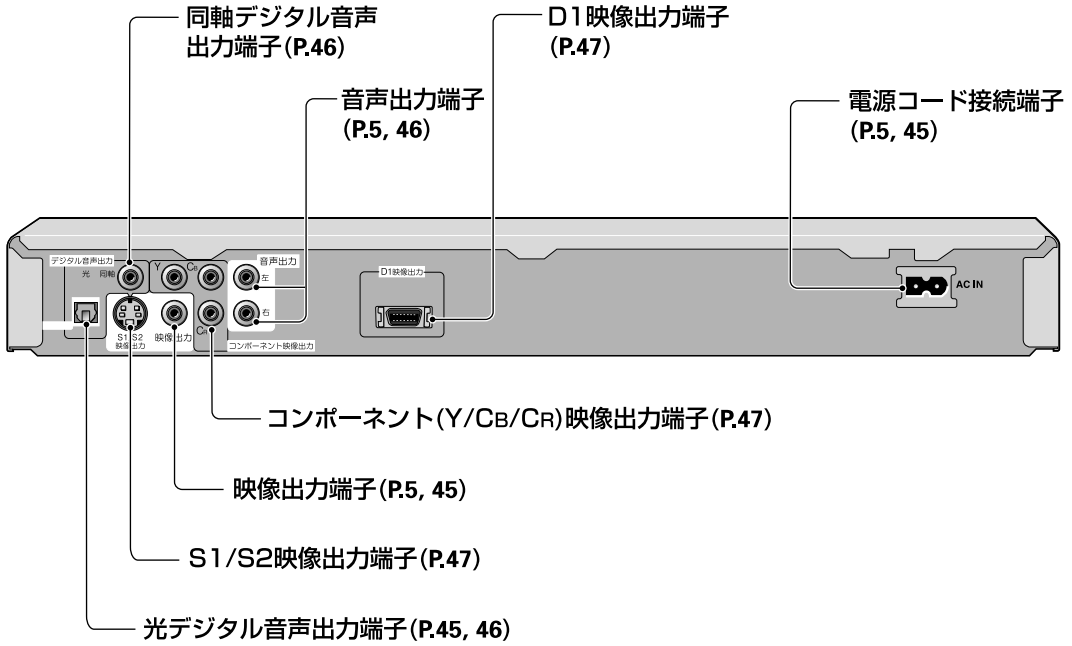
いろいろな情報を表示する

タイトル/チャプター/トラックの残り再生時間が表示されているとき点灯

ディスクを一時停止しているとき点灯

ディスクを再生しているとき点灯

ドルビーデジタル音声を選択して再生しているとき点灯

さっそくDVDを見る
各部のなまえとはたらき
DVDの再生
MP3の再生
ビデオCDの再生
CDの再生
音場設定
接続
簡単設定
初期設定
基礎知識
付録

各部のなまえとはたらき

リモコン

① ⏻ **電源ボタン** — 電源を入れる/切る(**P.6, 11**)。

② ↀ **音声ボタン** — DVDの音声言語、またはビデオCDの音声を切り換える(**P.10, 37**)。

③ **数字ボタン** — 見たい/聞きたいタイトル/チャプター/トラックを指定して再生したいとき、またはメニュー画面で項目を選択するときなどに使う。**数字ボタン**で選択して、**決定ボタン**を押す、または2秒以上待つ(**P.8, 17, 25, 31, 38**)。

④ **トップメニューボタン** — DVDソフトの最上層のメニュー画面を表示する(**P.8**)。

⑤ ⇦ ⇨ ⇧ ⇩ — 項目を選択/変更する。またはカーソルを上下左右に移動する。

⑥ **設定ボタン** — メインメニュー画面を表示する。操作/設定の途中で画面をオフにする。

⑦ **◀◀ /◀I/◀II ボタン** — 再生中、映像や音声の早戻しをする。一時停止中に押すと逆方向にコマ戻し再生、押し続けると逆方向にスロー再生をする(**P.9, 17, 18, 25, 30, 38**)。

⑧ **I◀◀ ボタン** — 現在再生中のチャプター/トラックの始めに戻る(**P.17, 25, 30, 38**)。

⑨ **II ボタン** — 映像/音声を再生中に押すと、映像/音声が一時停止する。もう一度押すと通常の再生に戻る(**P.9, 25, 30, 38**)。

⑩ **プレイモードボタン** — プレイモード画面を表示させる(**P.19, 26, 33, 39**)。

⑪ **サラウンドボタン** — バーチャルサラウンド(立体音場)機能をオン/オフする(**P.44**)。

⑫ **▲ オープン/クローズボタン** — ディスクテーブルを開閉する(**P.7**)。

⑬ **アングルボタン** — DVDのアングルを切り換える(**P.23**)。

⑭ **字幕ボタン** — DVDの字幕言語を切り換える(**P.10**)。

⑮ **クリアボタン** — リピート再生、ランダム再生、プログラム再生などで設定した内容を取り消す。

⑯ **決定ボタン** — ⑱ と同じ。

⑰ **メニューボタン** — DVDソフトのメニュー画面を表示する。MP3、ビデオCD、またはCDではディスクナビゲーター画面を表示する(**P.8, 29, 37, 42**)。

⑱ **決定ボタン** — 設定/選択した項目を実行する。

⑲ **戻るボタン** — 初期設定画面やメニュー画面が表示されているとき押すと1つ前の項目に戻る。

⑳ **▶▶ /II▶/I▶ ボタン** — 再生中、映像や音声の早送りをする。一時停止中に押すとコマ送り再生、押し続けるとスロー再生をする(**P.9, 17, 18, 25, 30, 38**)。

㉑ **▶ボタン** — ディスクを再生する(**P.8, 25, 30, 38**)。

㉒ **▶▶I ボタン** — 次のチャプター/トラックの始めに送る(**P.17, 25, 30, 38**)。

㉓ **■ ボタン** — ディスクを停止する(**P.11, 25, 30, 38**)。

㉔ **画面表示ボタン** — ディスクの情報を表示する(**P.24, 29, 37, 42**)。

㉕ **ズームボタン** — 映像を拡大する(**P.24**)。

DVD にはこんな再生のしかたもあります

タイトル / チャプターを指定して再生しましょう(ダイレクトサーチ)

タイトルを指定して再生するには

停止中に数字(0 〜 9)ボタンでタイトル番号を入力して、決定する。

- 番号入力後、2 秒以上経過すると自動的に再生を開始します。
- タイトルを指定して再生できないディスクもあります。

タイトル 3 を再生するには、**3** を押して、**決定ボタン**を押します。

チャプターを指定して再生するには

再生中に数字(0 〜 9)ボタンでチャプター番号を入力して、決定する。

- 番号入力後、2 秒以上経過すると自動的に再生を開始します。
- 現在再生中のタイトル内のチャプターのみ指定することができます。

チャプター 1 2 を再生するには、**1**, **2** を押して、**決定ボタン**を押します。

スキップ(頭出し)をしましょう

押した回数だけスキップします。

見たいチャプターに進むには･･･

再生中に ►►I ボタンを押す。

次のチャプターに進みます。

見たいチャプターに戻るには･･･

再生中に I◄◄ ボタンを押す。

再生中のチャプターの先頭に戻ります。2 回押すと 1 つ前のチャプターに戻ります。

DVDにはこんな再生のしかたもあります

コマ送り再生をしましょう

1. **再生中に ॥ ボタンを押す**
一時停止になります。

2. **॥►/I► ボタンを押す**
押すたびにコマ送りします。

逆方向にコマ送り再生するには･･･

一時停止中に ◄I/◄॥ ボタンを押す。
押すたびに逆方向へコマ送りします。

通常の再生に戻すには･･･

► ボタンを押す。

メモ

- コマ送りは音声が出力されません。
- コマ送り再生できないディスクもあります。
- 逆方向のコマ送り再生中､映像が揺れることがあります。
- 再生方向を変更したとき､映像が一瞬動くことがあります。

スロー再生をしましょう

1. **再生中に ॥ ボタンを押す**
一時停止になります。

2. **॥►/I► ボタンを押し続ける**
[スロー 1/16 I►]と表示されます。指を離してもスロー再生を続けます。

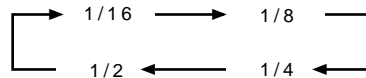
逆方向にスロー再生するには･･･

一時停止中に ◄I/◄॥ ボタンを押し続ける。

通常の再生に戻すには･･･

► ボタンを押す。

スロー再生の速さを変えるには･･･

スロー再生中に ॥►/I► ボタンを押す
押すたびに下記のように速さが変わります。

逆方向のスロー再生の速さを変えるには･･･

逆方向のスロー再生中に ◄I/◄॥ ボタンを押す。
押すたびに**[スロー 1]**⟺**[スロー 2]**が切り換わります。

メモ

- スロー再生中は音声が出力されません。
- スロー再生できないディスクもあります。

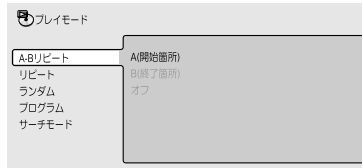
よく使うボタン

ボタン	説明
プレイモード	プレイモード画面を表示する。
	項目を選択 / 変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
	一つ前の画面に戻る。
	操作 / 設定の途中で画面をオフにする

プレイモード画面を表示させましょう

1. プレイモードボタンを押して、プレイモード画面を表示させる

メインメニュー画面からもプレイモードを選択することができます(**設定ボタン**を押して、メインメニュー画面を表示します)。

2. 項目を選択する

- **A-B リピート(P.19)**
  再生中のタイトル内の指定した範囲を繰り返し再生する。
- **リピート(P.20)**
  タイトルやチャプターを繰り返し再生する。
- **ランダム(P.20)**
  タイトルやチャプターを順不同に再生する。
- **プログラム(P.21-22)**
  タイトルやチャプターの順番を変えて再生する。
- **サーチモード(P.22)**
  タイトル、チャプター、または時間を指定して再生する。

3. カーソルを右へ移動する

指定した箇所を繰り返し再生しましょう(A-B リピート再生)

まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』**(P.19)**をご覧になり、**[A-B リピート]**を選択してください。

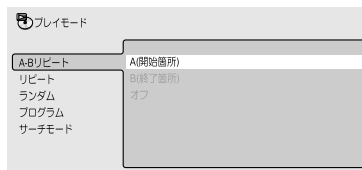
1. 再生中にA-Bリピートを開始したい箇所で[A(開始箇所)]を選択して、決定する

2. A-Bリピートを終了したい箇所で[B(終了箇所)]を選択して、決定する

- B(終了箇所)は、A(開始箇所)から2秒以上経過した箇所を指定してください。
- A-Bリピート再生を開始します。本体表示窓に**[R_A B]**と表示されます。
- 解除のしかたについては次ページをご覧ください。

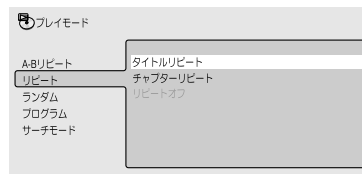
よく使うボタン

プレイモード	プレイモード画面を表示する。
	項目を選択/変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
	一つ前の画面に戻る。
	操作/設定の途中で画面をオフにする

A-Bリピート再生を解除するには･･･

[オフ]を選択して、決定する
(A-Bリピート再生中に**クリアボタン**を押して解除することもできます。)

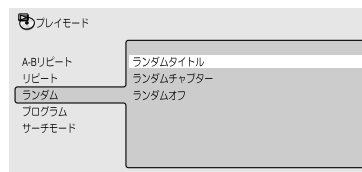
繰り返し再生しましょう(リピート再生)

まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』**(P.19)**をご覧になり、**[リピート]**を選択してください。

再生中にリピート再生の種類を選択して、決定する
リピート再生を開始します。本体表示窓に**[R_TTL]**(タイトルリピート)、または**[R_CHP]**(チャプターリピート)と表示されます。

- **タイトルリピート**
  現在再生中のタイトルを繰り返し再生する。
- **チャプターリピート**
  現在再生中のチャプターを繰り返し再生する。
- **リピートオフ**
  通常の再生に戻る(リピート再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻すこともできます)。

順不同に再生しましょう(ランダム再生)

まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』**(P.19)**をご覧になり、**[ランダム]**を選択してください。

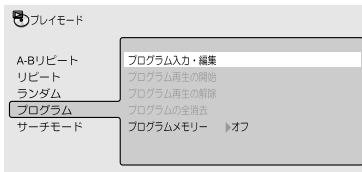
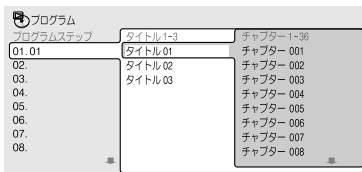
ランダム再生の種類を選択して、決定する
ランダム再生を開始します。本体表示窓に**[RDM]**と表示されます。

- **ランダムタイトル**
  タイトルを順不同に再生する。
- **ランダムチャプター**
  現在再生中のタイトル内のチャプターを順不同に再生する。
- **ランダムオフ**
  通常の再生に戻る(ランダム再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻ることもできます)。

メモ

・ランダム再生できないディスクがあります。
・ランダム再生をリピートすることはできません。

順番を変えて再生しましょう(プログラム再生)

まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』(**P.19**)をご覧になり、**[プログラム]**を選択してください。24ステップまでプログラムすることができます。

1. [プログラム入力・編集]を選択して、決定する

2. プログラムしたいタイトル/チャプターを選択して、決定する

- プログラム入力中に**戻るボタン**を押すと、プログラムした内容が無効になります。
- 一時停止をプログラムすることはできません。

3. 2 を繰り返して他のタイトル / チャプターをプログラムする

ステップの間にプログラムを追加するには･･･

例 ステップ 02 の前にタイトル 1 のチャプター 7 を追加する

① **カーソルをステップ 02 に合わせる**

② **タイトル1のチャプター7を選択して、決定する**
ステップ02にタイトル1のチャプター7が追加されます。もともとステップ02にあったプログラムは新しいプログラムの後ろに移動します。

入力中にプログラムを削除するには･･･

例 ステップ 02 のプログラムを削除する

① **カーソルをステップ 02 に合わせる**

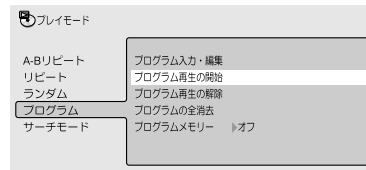
② **クリアボタンを押す**
ステップ02のプログラムが削除され、その後ろにあったプログラムが1つ前に繰り上がります。

4. ► ボタンを押す

プログラムした順に再生を開始します。本体表示窓に**[PGM]**と表示されます。

メモ

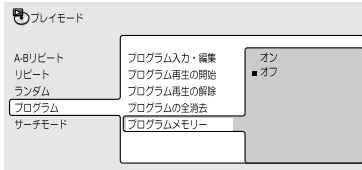
- タイトル/チャプターが変わるときに、プログラムしていないタイトル/チャプターの映像が見えることがあります。これは故障ではありません。
- プログラム再生をリピートする(繰り返す)ことができます。プログラム再生中にプレイモード画面の**[リピート]**から**[プログラムリピート]**を選択します(**P.20**)。
- プログラム再生をランダム(順不同に)再生することはできません。プログラム再生を解除して、ランダム再生のみをします。
- プログラム再生中に►►Iを押すと、次のプログラムステップのタイトル / チャプターを再生します。

プログラム再生を開始 / 解除 / 全消去するには･･･

- **プログラム再生の開始**
すでにプログラムされている内容を始めから再生します。
- **プログラム再生の解除**
通常の再生に戻ります。プログラムされている内容はそのまま残ります(プログラム再生中に**クリアボタン**を押して解除することもできます)。
- **プログラムの全消去**
プログラムされている内容をすべて消去します(停止中に**クリアボタン**を押して消去することもできます)。

DVDにはこんな再生のしかたもあります

プログラムした内容を記憶するには…(プログラムメモリー)

ディスクを取り出してもプログラムした内容を記憶しておくことができます。プログラムメモリーしたディスクを再生すると、自動的にプログラムされている順に再生を開始します。最大24枚まで記憶させることができます。24枚を超えると、古い記憶から消去されます。

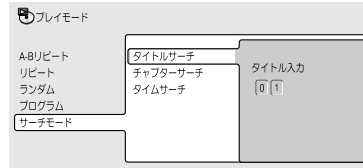
① **[プログラムメモリー]を選択して、カーソルを 右へ移動する。**

② **[オン]を選択して、決定する。**
プログラムメモリーを解除するときは**[オフ]**を選択して、決定します。

メモ

この機能を使うと、(株)フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたエフディスクをお客様のお好み順に再生することができます。また、ディスク内の最大24個のタイトル / チャプターを指定した順に並び替えてプレーヤーのメモリーに記録することにより、次回ディスクを挿入すると自動的にその順番に再生することもできます。最大24枚のディスクについてお好み順を記録しておくことができ、各ディスクで指定した並び順がプレーヤー内に記録されます。

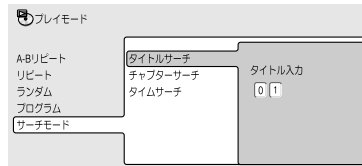
見たい場面を探しましょう(サーチモード)

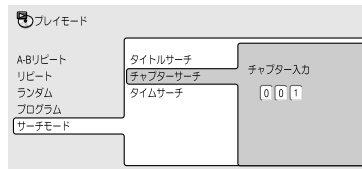
まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』**(P.19)**をご覧になり、**[サーチモード]**を選択してください。

1. 再生中にサーチモードの種類を選択して、決定する

- **タイトルサーチ**
  タイトルを指定して再生する。
- **チャプターサーチ**
  チャプターを指定して再生する。
- **タイムサーチ**
  時間を指定して再生する。

2. 数字(0～9)ボタンで再生したいタイトル、チャプター、または時間を入力して、決定する

指定したタイトル、チャプター、または時間から再生を開始します。

タイトルサーチを選択したとき…

タイトル3を選択するには、**3**を押します。

チャプターサーチを選択したとき…

チャプター12を選択するには、**1**, **2**を押します。

タイムサーチを選択したとき…

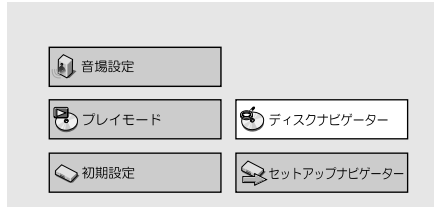
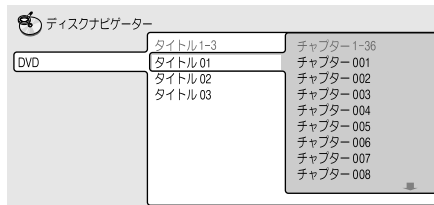
- 21分43秒を選択するには、**2**, **1**, **4**, **3**を押します。
- 1時間4分(64分00秒)を選択するには、**6**, **4**, **0**, **0**を押します。

よく使うボタン

ボタン	機能
プレイモード	プレイモード画面を表示する。
	項目を選択 / 変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
戻る	一つ前の画面に戻る。
設定	操作 / 設定の途中で画面をオフにする

ディスクナビゲーターを使って再生しましょう

1. **設定ボタンを押して、メインメニュー画面を表示させる**

2. **[ディスクナビゲーター]を選択して、決定する**

3. **カーソルをタイトル、またはチャプターに移動する**

4. **再生したいタイトル、またはチャプターを選択して、決定する**
選択したタイトル、またはチャプターから再生を開始します。

映像のアングルを切り換えましょう（マルチアングル）

アングルボタンを押す
現在のアングルと、収録されているアングルの総数が表示されます。押すたびにアングルが切り換わります。

アングル	現在/総数 2/4

メモ

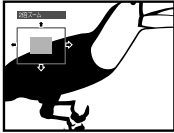
- 複数のアングルが収録されている場所にくると、マークが画面に表示されます。
- マークが表示されてもアングルを切り換えることができないディスクもあります。
- メニュー画面でアングルを切り換えることができるディスクもあります。
- 一時停止中にアングルを切り換えると、一時停止は解除されます。
- マークを表示させたくないときは、初期設定の**[アングルマーク表示]**を**[オフ]**にします(**P.56**)。

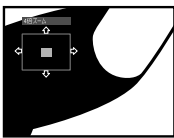
DVDにはこんな再生のしかたもあります

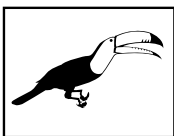
映像を拡大して見ましょう(ズーム)

1. ズームボタンを押す

ズームエリア(拡大する場所)が左上に表示されます。

1回押すと･･･

･･･2倍に拡大！

2回押すと･･･

･･･4倍に拡大！

3回押すと･･･

･･･通常の映像に戻る

2. ズームエリア表示中に⇧⇩⇦⇨でズームエリアを移動する

メモ

- 約5秒間ボタン操作がないと、ズームエリアが消えます。さらに倍率を変えたいときは、もう一度**ズームボタン**を押してズームエリアを表示してください。
- ズーム中は字幕が表示されません。
- DVDのメニュー画面を表示中に映像をズームすると、項目を選択することができません。

ディスクの情報を見ましょう

再生中に画面表示ボタンを押す

画面右上の情報は、リピート、ランダム、またはプログラム再生中のみ表示されます。

1回押すと･･･

再生	► DVD			チャプターリピート
	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
タイトル	1/3	0.12	138.47	138.59
音声	1. 英語 Dolby Digital 3/2.1CH	字幕 2. 日本語		アングル 1

現在再生中のタイトルの情報が表示されます。

2回押すと･･･

再生	► DVD			チャプターリピート
	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
チャプター	1/36	0.15	1.53	2.08
転送レート	■■■■■■■■■■■■■■■■■		8.1Mbps	

現在再生中のチャプターの情報と転送レートが表示されます。

3回押すと･･･

表示が消えます。

MP3 ファイルを再生しましょう

❓Q&A

Q: MP3ファイルを記録したディスクが再生できない。

→ MP3 ファイルを記録したディスクがファイナライズされていることを確認してください。

→ 画面に[**このフォーマットは再生できません**]と表示されていませんか。このときは、下記のような原因が考えられます。

- 記録したディスクがISO9660 フォーマットに準拠していない。
- MPEG1 オーディオレイヤー 3 のサンプリング周波数32kHz、44.1kHz、または48kHz の固定ビットレートで記録されていない(P.60)。

基本的な使いかた

メモ

再生する前に確認してください。

- 電源は入っていますか？(**P.6**)
- ディスクは入っていますか？(**P.7**)

何をする？	これを押す！	知っておいて！
再生する	►	ディスク情報を読み込み中に、画面に[**読込中**]と表示されます。表示が消えてから再生してください。
停止する	■	MP3では、リジューム機能は働きません。
一時停止する	II	通常の再生に戻すには、一時停止中に ►、または **II ボタン**を押します。
頭出しする	◄◄ ►►I	押した回数だけスキップします。
早送りする	►►	早送り中は画面に[**スキャン 1 ►►**]と表示されます。再生中のトラックのみを早送りします。次のトラックまで早送りすると通常の再生に戻ります。早送り中に通常の再生に戻すには、**► ボタン**を押します。
早戻しする	◄◄	早戻し中は画面に[**スキャン 1 ◄◄**]と表示されます。再生中のトラックのみを早戻しします。再生中のトラックの先頭まで早戻しすると通常の再生に戻ります。早戻し中に通常の再生に戻すには、**►ボタン**を押します。
トラックを指定して再生する(再生中のフォルダー内のトラックのみ)	0～9 決定	聞きたいトラックの番号を**数字(0～9)ボタン**で選択して、**決定ボタン**を押してください(トラック番号を選択してから 2 秒以上経過すると自動的に再生を開始します)。 例 トラック 12 を再生するには **1, 2** を押して、**決定ボタン**を押します。

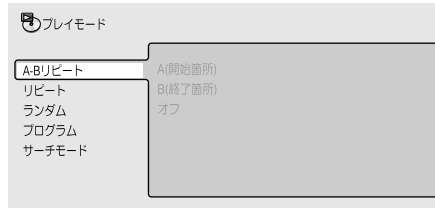
よく使うボタン

ボタン	説明
プレイモード	プレイモード画面を表示する。
	項目を選択 / 変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
	一つ前の画面に戻る。
	操作 / 設定の途中で画面をオフにする

プレイモード画面を表示させましょう

1. プレイモードボタンを押して、プレイモード画面を表示させる

メインメニュー画面からもプレイモードを選択することができます(**設定ボタン**を押してメインメニュー画面を表示します)。

2. 項目を選択する

- **リピート(P.27)**
  ディスク、フォルダーまたはトラックを繰り返し再生する。
- **ランダム(P.27)**
  現在再生中のフォルダー内のトラックを順不同に再生する。
- **プログラム(P.28)**
  フォルダーやトラックの順番を変えて再生する。
- **サーチモード(P.29)**
  フォルダー、またはトラックを指定して再生する。

3. カーソルを右へ移動する

Q&A

Q: A-B リピート再生が選択できない。

→ MP3 では A-B リピート再生ができません。

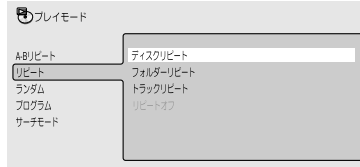
よく使うボタン

プレイモード	プレイモード画面を表示する。
	項目を選択 / 変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
	一つ前の画面に戻る。
	操作 / 設定の途中で画面をオフにする

繰り返し再生をしましょう(リピート再生)

まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』**(P.26)**をご覧になり、**[リピート]**を選択してください。

再生中にリピート再生の種類を選択して、決定する

リピート再生を開始します。本体表示窓に**[R_DSC]**(ディスクリピート)、**[R_FLD]**(フォルダーリピート)、または**[R_TRK]**(トラックリピート)と表示されます。

- **ディスクリピート**
  現在再生中のディスクを繰り返し再生する。
- **フォルダーリピート**
  現在再生中のフォルダーを繰り返し再生する。
- **トラックリピート**
  現在再生中のフォルダー内のトラックを繰り返し再生する。
- **リピートオフ**
  通常の再生に戻る(リピート再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻すこともできます)。

順不同に再生をしましょう(ランダム再生)

まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』**(P.26)**をご覧になり、**[ランダム]**を選択してください。

[オン]を選択して、決定する

ランダム再生を開始します。本体表示窓に**[RDM]**と表示されます。

- **オン**
  現在再生中のフォルダー内のトラックを順不同に再生する。
- **オフ**
  通常の再生に戻る(ランダム再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻すこともできます)。

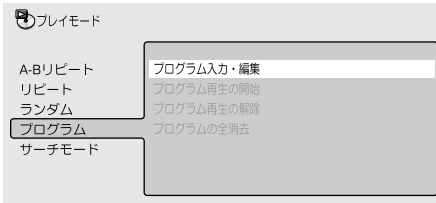
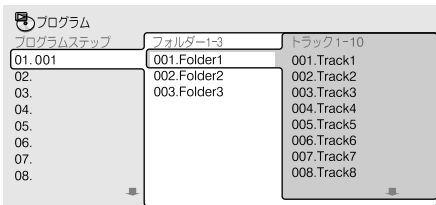
メモ

・ランダム再生できないディスクがあります。
・ランダム再生をリピートすることはできません。

MP3 ファイルを再生しましょう

順番を変えて再生しましょう(プログラム再生)

まずは『**プレイモード画面を表示させましょう**』(**P.26**)をご覧になり、[**プログラム**]を選択してください。24ステップまでプログラムすることができます。

1. [プログラム入力・編集]を選択して、決定する

2. プログラムしたいフォルダー/トラックを選択して、決定する

- プログラム入力中に**戻るボタン**を押すと、プログラムした内容が無効になります。
- 一時停止をプログラムすることはできません。

3. 2 を繰り返して他のフォルダー / トラックをプログラムする

ステップの間にプログラムを追加するには･･･

例 **ステップ 02 の前にフォルダー 1 のトラック 7 を追加する**

① **カーソルをステップ 02 に合わせる**

② **フォルダー 1 のトラック 7 を選択して、決定する**

ステップ 02 にフォルダー 1 のトラック 7 が追加されます。もともとステップ02にあったプログラムは新しいプログラムの後ろに移動します。

入力中にプログラムを削除するには･･･

例 **ステップ 02 のプログラムを削除する**

① **カーソルをステップ 02 に合わせる**

② **クリアボタンを押す**

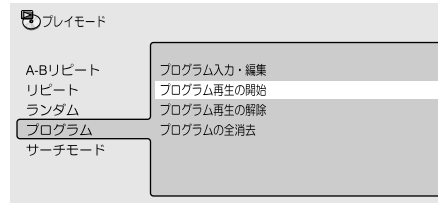
ステップ02のプログラムが削除され、その後ろにあったプログラムが 1 つ前に繰り上がります。

4. ► ボタンを押す

プログラムした順に再生を開始します。本体表示窓に[**PGM**]と表示されます。

メモ

- プログラム再生をリピートする(繰り返す)ことができます。プログラム再生中にプレイモード画面の[**リピート**]から[**プログラムリピート**]を選択します(**P.27**)。
- プログラム再生をランダム(順不同に)再生することはできません。プログラム再生を解除して、ランダム再生のみをします。
- プログラム再生中に►►❙を押すと、次のプログラムステップのフォルダー / トラックを再生します。

プログラム再生を開始 / 解除 / 全消去するには･･･

- **プログラム再生の開始**
  すでにプログラムされている内容を始めから再生します。
- **プログラム再生の解除**
  通常の再生に戻ります。プログラムされている内容はそのまま残ります(プログラム再生中に**クリアボタン**を押して解除することもできます)。
- **プログラムの全消去**
  プログラムされている内容をすべて消去します(停止中に**クリアボタン**を押して消去することもできます)。

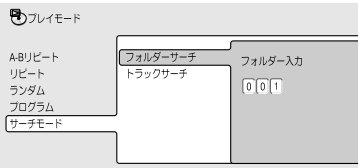
聴きたい曲を探しましょう(サーチモード)

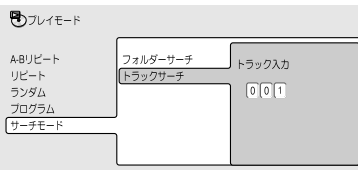
まずは『**プレイモード画面を表示させましょう**』(P.26)をご覧になり、**[サーチモード]**を選択してください。

1. **サーチモードの種類を選択して、決定する**

- **フォルダーサーチ**
  フォルダーを指定して再生します。
- **トラックサーチ**
  トラックを指定して再生します。

2. **数字(0～9)ボタンで再生したいフォルダー / トラックを入力して、決定する**
指定したフォルダー/トラックの再生を開始します。

フォルダーサーチを選択したとき･･･

例
フォルダー 3 を選択するには、**3** を押します。

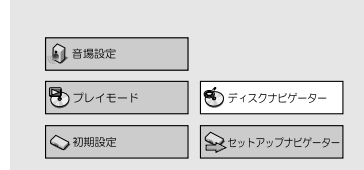
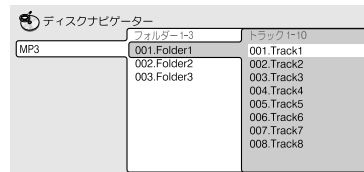
トラックサーチを選択したとき･･･

例
トラック 12 を選択するには、**1**, **2** を押します。

Q&A

Q: タイムサーチができない。
→ MP3 ではタイムサーチができません。

ディスクナビゲーターを使って再生しましょう

1. **設定ボタンを押して、メインメニュー画面を表示させる**
メニューボタンでディスクナビゲーター画面を表示させることもできます。このときは手順3に進んでください。

2. **[ディスクナビゲーター]を選択して、決定する**

3. **再生したいフォルダー / トラックを選択して、決定する**

17 番目以降のフォルダーでは、フォルダー名が[F_033]、トラック名が[T_035]のように表示されることがあります。

ディスクの情報を見ましょう

再生中に画面表示ボタンを押す
画面右上の情報は、リピート、ランダム、またはプログラム再生中のみ表示されます。

1 回押すと･･･

再 生 ►	MP3			フォルダーリピート
	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
トラック	1/17	0:06	3:26	3:32
トラック名	Track1			

現在再生中のトラックの情報が表示されます。

2 回押すと･･･

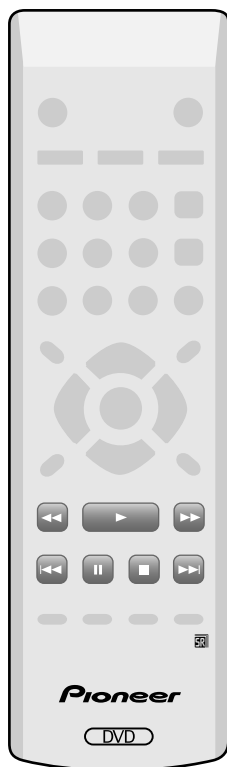
再 生 ►	MP3	フォルダーリピート
	現在/総数	
フォルダー	1/17	
フォルダー名	Folder1	

現在再生中のフォルダーの情報が表示されます。

3 回押すと･･･
表示が消えます。

ビデオ CD を再生しましょう

基本的な使いかた

メモ

再生する前に確認してください。

- 電源は入っていますか？(**P.6**)
- ディスクは入っていますか？(**P.7**)

何をする？	これを押す！	知っておいて！
再生する	►	ビデオCDでは、再生を開始するとメニュー画面を表示するディスクがあります。メニュー画面の操作については **P.31** をご覧ください。
停止する	■	本体の表示窓に[**RESUME**]と表示され、停止したトラックの始めを記憶します。リジューム機能を解除するには、**■ ボタン**をもう一度押します。
一時停止する	❚❚	通常の再生に戻すには、一時停止中に **►**、または **❚❚ ボタン**を押します。
頭出しする	❙◄◄ ►►❙	押した回数だけスキップします。
早送りする	►►	早送り中は画面に[**スキャン1 ►►**]と表示されます。再生中のトラックのみを早送りします。早送りの速さを２段階(**スキャン１→スキャン２**)に切り換えることができます。次のトラックまで早送りすると通常の再生に戻ります。早送り中に通常の再生に戻すには、**► ボタン**を押します。
早戻りする	◄◄	早戻し中は画面に[**スキャン1 ◄◄**]と表示されます。再生中のトラックのみを早戻しします。早戻しの速さを２段階(**スキャン１→スキャン２**)に切り換えることができます。再生中のトラックの先頭まで早戻しすると通常の再生に戻ります。早戻し中に通常の再生に戻すには、**► ボタン**を押します。

Q&A

Q: ビデオ CD が再生できない。

→ パソコンで記録されたビデオCDは再生できないことがあります。

メニュー画面から再生しましょう(PBC 再生)

ビデオ CD では、メニュー画面に従って再生することを PBC(プレイバックコントロール)再生といいます。ディスクによって操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドも合わせてご覧ください。

1. **PBC 再生対応ディスクを入れ、► ボタンを押す**

メニュー画面が表示され、PBC 再生を開始します。

ビデオCDカラオケ		
1	Stand up!	Rock
2	Hello!	Pops
3	Over the Mountain	R&B
4	Help Me!	Jazz
5	It's fine today	Pops

2. **数字(0 ～ 9)ボタンで再生したいトラックを選択して、決定する**

再生を開始します。再生中に**戻るボタン**を押すとメニュー画面に戻ります。

メニュー画面のページをめくる、または戻すには･･･

メニュー画面を表示中に下記のボタンを押します。

|◄◄、または ►►| ボタンを押す。

メニュー画面を出さずに再生するには･･･(PBC 再生を解除して再生する)

停止中に下記のいずれかのボタンを使って、再生するトラックを選択します。

- **|◄◄、または ►►| ボタンで選択**
- **数字(0 ～ 9)ボタンで選択して、決定する**

  トラックを選択してから、2 秒以上経過すると自動的に再生を開始します。

トラック 12 を再生するには、**1, 2** と押して、**決定ボタン**を押します。

コマ送り再生をしましょう

1. 再生中に II ボタンを押す

一時停止になります。

2. II▶/I▶ ボタンを押す

押すたびにコマ送りします。

通常の再生に戻すには･･･

▶ ボタンを押す。

スロー再生をしましょう

1. 再生中に II ボタンを押す

一時停止になります。

2. II▶/I▶ ボタンを押し続ける

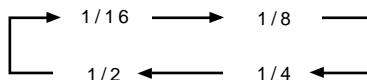
[スロー 1/16 I▶]と表示されます。指を離してもスロー再生を続けます。

通常の再生に戻すには･･･

▶ ボタンを押す。

スロー再生の速さを変えるには･･･

スロー再生中に II▶/I▶ ボタンを押す

押すたびに下記のように速さが変わります。

Q&A

Q1: コマ送り / スロー再生中音声が出力されない。

→ コマ送り / スロー再生中は音声が出力されません。

Q2: 逆方向のコマ送り / スロー再生ができない。

→ ビデオ CD では、逆方向のコマ送り / スロー再生ができません。

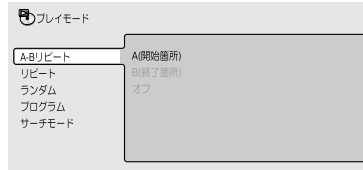
よく使うボタン

プレイモード	プレイモード画面を表示する。
	項目を選択 / 変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
決定	項目を決定する。
戻る	一つ前の画面に戻る。
設定	操作 / 設定の途中で画面をオフにする

プレイモード画面を表示させましょう

1. プレイモードボタンを押して、プレイモード画面を表示させる

- PBC再生中にプレイモード画面を表示させることはできません。PBC 再生を解除してください(**P.31**)。
- メインメニュー画面からもプレイモードを選択することができます(**設定ボタン**を押して、メインメニュー画面を表示します)。

2. 項目を選択する

- **A-B リピート(P.33)**
  再生中のトラック内の指定した範囲を繰り返し再生する。
- **リピート(P.34)**
  ディスク、またはトラックを繰り返し再生する。
- **ランダム(P.34)**
  トラックを順不同に再生する。
- **プログラム(P.35)**
  トラックの順番を変えて再生する。
- **サーチモード(P.36)**
  トラック、または時間を指定して再生する。

3. カーソルを右へ移動する

指定した箇所を繰り返し再生しましょう(A-B リピート再生)

まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』**(P.33)**をご覧になり、**[A-B リピート]**を選択してください。

1. 再生中にA-Bリピートを開始したい箇所で[A(開始箇所)]を選択して、決定する

2. A-Bリピートを終了したい箇所で[B(終了箇所)]を選択して、決定する

- B(終了箇所)は、A(開始箇所)から 2 秒以上経過した箇所を指定してください。
- A-Bリピート再生を開始します。本体表示窓に**[R_A B]**と表示されます。
- 解除のしかたについては次ページをご覧ください。

よく使うボタン

プレイモード	プレイモード画面を表示する。
	項目を選択 / 変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
	一つ前の画面に戻る。
	操作 / 設定の途中で画面をオフにする

A-B リピート再生を解除するには･･･

[オフ]を選択して、決定する
(A-Bリピート再生中に**クリアボタン**を押して解除することもできます。)

繰り返し再生をしましょう(リピート再生)

まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』**(P.33)**をご覧になり、**[リピート]**を選択してください。

再生中にリピート再生の種類を選択して、決定する
リピート再生を開始します。本体表示窓に**[R_DSC]**(ディスクリピート)、または**[R_TRK]**(トラックリピート)と表示されます。

- **ディスクリピート**
  現在再生中のディスクを繰り返し再生する。
- **トラックリピート**
  現在再生中のトラックを繰り返し再生する。
- **リピートオフ**
  通常の再生に戻る(リピート再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻すこともできます)。

順不同に再生をしましょう(ランダム再生)

まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』**(P.33)**をご覧になり、**[ランダム]**を選択してください。

[オン]を選択して、決定する
ランダム再生を開始します。本体表示窓に**[RDM]**と表示されます。

- **オン**
  トラックを順不同に再生する。
- **オフ**
  通常の再生に戻る(ランダム再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻ることもできます)。

メモ

・ランダム再生できないディスクがあります。
・ランダム再生をリピートすることはできません。

順番を変えて再生しましょう(プログラム再生)

まずは『**プレイモード画面を表示させましょう**』(**P.33**)をご覧になり、[**プログラム**]を選択してください。24ステップまでプログラムすることができます。

1. [プログラム入力・編集]を選択して、決定する

2. プログラムしたいトラックを選択して、決定する

- プログラム入力中に**戻るボタン**を押すと、プログラムした内容が無効になります。
- 一時停止をプログラムすることはできません。

3. 2 を繰り返して他のトラックをプログラムする

ステップの間にプログラムを追加するには・・・

例 **ステップ 02 の前にトラック 7 を追加する**

① **カーソルをステップ 02 に合わせる**

② **トラック 7 を選択して、決定する**

ステップ02にトラック7が追加されます。もともとステップ02にあったプログラムは新しいプログラムの後ろに移動します。

入力中にプログラムを削除するには・・・

例 **ステップ 02 のプログラムを削除する**

① **カーソルをステップ 02 に合わせる**

② **クリアボタンを押す**

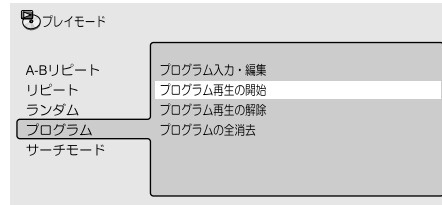
ステップ02のプログラムが削除され、その後ろにあったプログラムが1つ前に繰り上がります。

4. ► ボタンを押す

プログラムした順に再生を開始します。本体表示窓に[**PGM**]と表示されます。

メモ

- プログラム再生をリピートする(繰り返す)ことができます。プログラム再生中にプレイモード画面の[**リピート**]から[**プログラムリピート**]を選択します(**P.34**)。
- プログラム再生をランダム(順不同に)再生することはできません。プログラム再生を解除して、ランダム再生のみをします。
- プログラム再生中に►►|を押すと、次のプログラムステップのトラックを再生します。

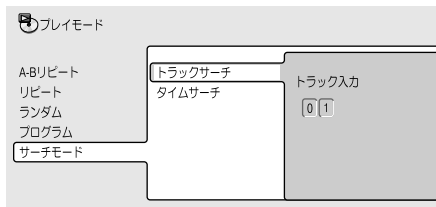
プログラム再生を開始/解除/全消去するには・・・

- **プログラム再生の開始**
  すでにプログラムされている内容を始めから再生します。
- **プログラム再生の解除**
  通常の再生に戻ります。プログラムされている内容はそのまま残ります(プログラム再生中に**クリアボタン**を押して解除することもできます)。
- **プログラムの全消去**
  プログラムされている内容をすべて消去します(停止中に**クリアボタン**を押して消去することもできます)。

よく使うボタン

	プレイモード画面を表示する。
	項目を選択 / 変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
戻る	一つ前の画面に戻る。
設定	操作 / 設定の途中で画面をオフにする

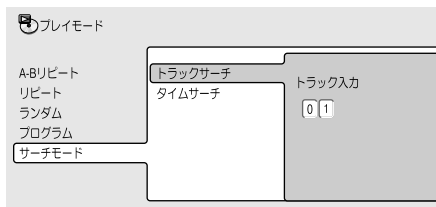
聴きたい曲を探しましょう(サーチモード)

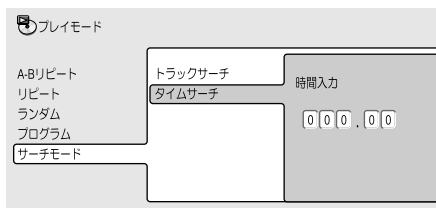
まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』**(P.33)**をご覧になり、**[サーチモード]**を選択してください。

1. サーチモードの種類を選択して、決定する

- **トラックサーチ**
  トラックを指定して再生します。
- **タイムサーチ**
  現在再生中のトラック内の時間を指定して再生します。

2. 数字(0〜9)ボタンで再生したいトラック、または時間を入力して、決定する

指定したトラック、または時間から再生を開始します。

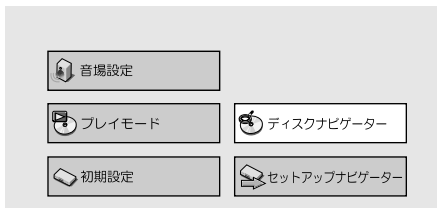
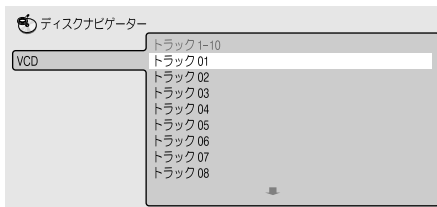
トラックサーチを選択したとき･･･

トラック 12 を選択するには、**1**, **2** を押します。

タイムサーチを選択したとき･･･

・ 21分43秒を選択するには、**2**, **1**, **4**, **3** を押します。
・ 1 時間 4 分(64 分 00 秒)を選択するには、**6**, **4**, **0**, **0** を押します。

ディスクナビゲーターを使って再生しましょう

1. **設定ボタンを押して、メインメニュー画面を表示させる**

- **メニューボタン**でディスクナビゲーター画面を表示させることもできます。このときは手順3に進んでください。
- PBC 再生中はメインメニュー画面を表示することができません。PBC 再生を解除してください(**P.31**)。

2. **[ディスクナビゲーター]を選択して、決定する**

3. **再生したいトラックを選択して、決定する**

音声を切り換えましょう

音声ボタンを押す

押すたびに音声が切り換わります。

メモ

カラオケソフトなどで音声を伴奏だけにするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせて上記の操作をしてください。

ディスクの情報を見ましょう

再生中に画面表示ボタンを押す

画面右上の情報は、リピート、ランダム、またはプログラム再生中のみ表示されます。

1 回押すと･･･

再生	► VCD			リピートトラック
		経過時間	残り時間	総時間
ディスク		0.02	51.25	51.27

現在再生中のディスクの情報が表示されます。

2 回押すと･･･

現在再生中のトラックの情報が表示されます。

3 回押すと･･･

表示が消えます。

CD(CD-R/CD-RW)を再生しましょう

基本的な使いかた

メモ

再生する前に確認してください。

- 電源は入っていますか？(**P.6**)
- ディスクは入っていますか？(**P.7**)

何をする？	これを押す！	知っておいて！
再生する	►	
停止する	■	CD(CD-R/CD-RW)では、リジューム機能は働きません。
一時停止する	II	通常の再生に戻すには、一時停止中に►、または **II ボタン**を押します。
頭出しする	I◄◄ ►►I	押した回数だけスキップします。
早送りする	►►	早送り中は画面に **[スキャン 1 ►►]** と表示されます。早送りの速さを 2 段階(**スキャン1→スキャン2**)に切り換えることができます。通常の再生に戻すには、**►ボタン**を押します。
早戻りする	◄◄	早戻し中は画面に **[スキャン 1 ◄◄]** と表示されます。早戻しの速さを 2 段階(**スキャン1→スキャン2**)に切り換えることができます。通常の再生に戻すには、**►ボタン**を押します。
トラックを指定して再生する	0〜9 決定	聞きたいトラックの番号を**数字(0〜9)ボタン**で選択して、**決定ボタン**を押してください(トラック番号を選択してから 2 秒以上経過すると自動的に再生を開始します)。 例 トラック 12 を再生するには **1, 2** を押して、**決定ボタン**を押します。

Q&A

Q1: CD-R/RWが再生できない。

→ パソコンで記録された CD-R/RW は再生できないことがあります。

Q2: CD-G が再生できない。

→ CD-Gのグラフィック映像は再生できません。

Q3: 頭出し(スキップ)ができない。

→ ファイナライズされていない CD-R/RW では頭出し(スキップ)ができません。

Q4: トラックを指定して再生できない。

→ ファイナライズされていない CD-R/RW ではトラックを指定して再生することができません。

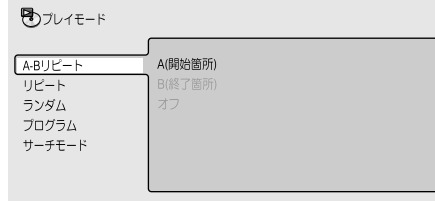
よく使うボタン

プレイモード	プレイモード画面を表示する。
	項目を選択 / 変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
戻る	一つ前の画面に戻る。
設定	操作 / 設定の途中で画面をオフにする

プレイモード画面を表示させましょう

1. プレイモードボタンを押して、プレイモード画面を表示させる

- ファイナライズされていないCD-R/CD-RWではプレイモード画面を表示させることができません。
- メインメニュー画面からもプレイモードを選択することができます(**設定ボタン**を押して、メインメニュー画面を表示します)。

2. 項目を選択する

- **A-B リピート(P.39)**
  再生中のトラック内の指定した範囲を繰り返し再生する。
- **リピート(P.40)**
  ディスク、またはトラックを繰り返し再生する。
- **ランダム(P.40)**
  トラックを順不同に再生する。
- **プログラム(P.41)**
  トラックの順番を変えて再生する。
- **サーチモード(P.42)**
  トラックを指定して再生する。

3. カーソルを右へ移動する

指定した箇所を繰り返し再生しましょう(A-B リピート再生)

まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』**(P.39)**をご覧になり、**[A-B リピート]**を選択してください。

1. 再生中にA-Bリピートを開始したい箇所で[A(開始箇所)]を選択して、決定する

2. A-Bリピートを終了したい箇所で[B(終了箇所)]を選択して、決定する

- B(終了箇所)は、A(開始箇所)から2秒以上経過した箇所を指定してください。
- A-Bリピート再生を開始します。本体表示窓に**[R_A B]**と表示されます。
- 解除のしかたについては次ページをご覧ください。

よく使うボタン

プレイモード	プレイモード画面を表示する。
	項目を選択 / 変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
戻る	一つ前の画面に戻る。
設定	操作 / 設定の途中で画面をオフにする

A-B リピート再生を解除するには･･･

[オフ]を選択して、決定する
(A-Bリピート再生中に**クリアボタン**を押して解除することもできます。)

繰り返し再生をしましょう(リピート再生)

まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』**(P.39)**をご覧になり、**[リピート]**を選択してください。

再生中にリピート再生の種類を選択して、決定する
リピート再生を開始します。本体表示窓に**[R_DSC]**(ディスクリピート)、または**[R_TRK]**(トラックリピート)と表示されます。

- **ディスクリピート**
  現在再生中のディスクを繰り返し再生する。
- **トラックリピート**
  現在再生中のトラックを繰り返し再生する。
- **リピートオフ**
  通常の再生に戻る(リピート再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻すこともできます)。

順不同に再生をしましょう(ランダム再生)

まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』**(P.39)**をご覧になり、**[ランダム]**を選択してください。

[オン]を選択して、決定する
ランダム再生を開始します。本体表示窓に**[RDM]**と表示されます。

- **オン**
  トラックを順不同に再生する。
- **オフ**
  通常の再生に戻る(ランダム再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻ることもできます)。

メモ

・ ランダム再生できないディスクがあります。
・ ランダム再生をリピートすることはできません。

順番を変えて再生しましょう(プログラム再生)

まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』**(P.39)**をご覧になり、**[プログラム]**を選択してください。24ステップまでプログラムすることができます。

1. [プログラム入力・編集]を選択して、決定する

2. プログラムしたいトラックを選択して、決定する

- プログラム入力中に**戻るボタン**を押すと、プログラムした内容が無効になります。
- 一時停止をプログラムすることはできません。

3. 2 を繰り返して他のトラックをプログラムする

ステップの間にプログラムを追加するには･･･

例 ステップ 02 の前にトラック 7 を追加する

① **カーソルをステップ 02 に合わせる**

② **トラック 7 を選択して、決定する**

ステップ02にトラック7が追加されます。もともとステップ02にあったプログラムは新しいプログラムの後ろに移動します。

入力中にプログラムを削除するには･･･

例 ステップ 02 のプログラムを削除する

① **カーソルをステップ 02 に合わせる**

② **クリアボタンを押す**

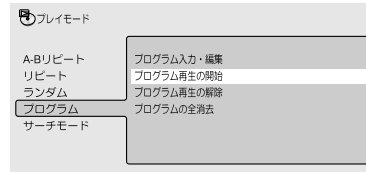
ステップ02のプログラムが削除され、その後ろにあったプログラムが1つ前に繰り上がります。

4. ► ボタンを押す

プログラムした順に再生を開始します。本体表示窓に**[PGM]**と表示されます。

メモ

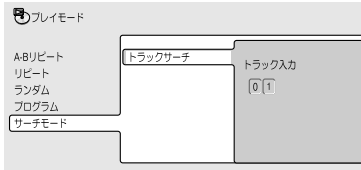
- プログラム再生をリピートする(繰り返す)ことができます。プログラム再生中にプレイモード画面の**[リピート]**から**[プログラムリピート]**を選択します**(P.40)**。
- プログラム再生をランダム(順不同に)再生することはできません。プログラム再生を解除して、ランダム再生のみをします。
- プログラム再生中に►►Iを押すと、次のプログラムステップのトラックを再生します。

プログラム再生を開始 / 解除 / 全消去するには･･･

- **プログラム再生の開始**
  すでにプログラムされている内容を始めから再生します。
- **プログラム再生の解除**
  通常の再生に戻ります。プログラムされている内容はそのまま残ります(プログラム再生中に**クリアボタン**を押して解除することもできます)。
- **プログラムの全消去**
  プログラムされている内容をすべて消去します(停止中に**クリアボタン**を押して消去することもできます)。

CD(CD-R/CD-RW)を再生しましょう

聴きたい曲を探しましょう(サーチモード)

まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』(P.39)をご覧になり、**[サーチモード]**を選択してください。

1. トラックサーチを選択して、決定する

- **トラックサーチ**
  トラックを指定して再生します。

2. 数字(0～9)ボタンで再生したいトラックを入力して、決定する
指定したトラックの再生を開始します。

Q&A

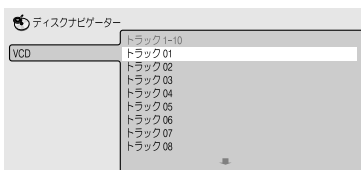
Q: タイムサーチができない。
→ CD ではタイムサーチができません。

ディスクナビゲーターを使って再生しましょう

1. 設定ボタンを押して、メインメニュー画面を表示させる

- **メニューボタン**でディスクナビゲーター画面を表示させることもできます。このときは手順3に進んでください。
- ファイナライズされていない CD-R/CD-RW では、メインメニュー画面を表示することができません。

2. [ディスクナビゲーター]を選択して、決定する

3. 再生したいトラックを選択して、決定する

ディスクの情報を見ましょう

再生中に画面表示ボタンを押す
画面右上の情報は、リピート、ランダム、プログラム再生中にのみ表示されます。

1 回押すと･･･

現在再生中のトラックの情報が表示されます。

2 回押すと･･･

現在再生中のディスクの情報が表示されます。

3 回押すと･･･
表示が消えます。

Q&A

Q: 時間情報が表示されない。
→ ファイナライズしていない CD-R/RW では一部の時間情報が表示されないことがあります。

音場を設定しましょう

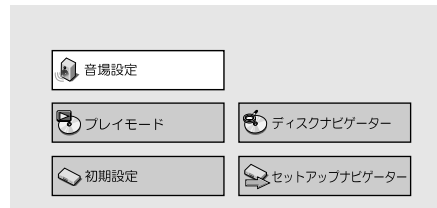
よく使うボタン

 設定	メインメニュー画面を表示する。または、操作 / 設定の途中で画面をオフにする
	項目を選択 / 変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
 戻る	一つ前の画面に戻る。

音声の強弱の幅(ダイナミックレンジ)を調整しましょう(オーディオ DRC)

オーディオ DRC(ダイナミックレンジコントロール)を切り換えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する効果があります。例えば、映画の台詞などが聞きづらいときや深夜に映画を見るようなときに変更します。

1. **設定ボタンを押して、メインメニュー画面を表示させる**

2. **[音場設定]を選択して、決定する**

3. **[オーディオ DRC]の[オン]、または[オフ]を ⇦ ⇨ で選択して、決定する**

オフ
オーディオ DRC を解除します。高音質のスピーカーで臨場感が得られます**(出荷時の設定)**。

オン
爆発音などの大音量を抑え、台詞などが聞きやすくなります。

メモ

- オーディオ DRC はドルビーデジタル音声にのみ働きます。
- ディスクによっては効果の少ないものがあります。
- オーディオDRCはデジタル音声出力端子(光/同軸)から出力される音声にも効果があります。ただし、**[デジタル音声出力]**の**[デジタル出力]**を**[オン]**(**P.50**)に設定して、さらに**[□□Digital出力]**を**[□□Digital > PCM]**(**P.51**)に設定してください。
- オーディオ DRC の効果は、お使いのスピーカーやテレビ、または AV アンプの音量設定などによっても変わります。実際に設定を切り換えながら、一番効果的な設定を選択してください。

2 つのスピーカーで臨場感のある立体音場を再現しましょう(バーチャルサラウンド)

よく使うボタン

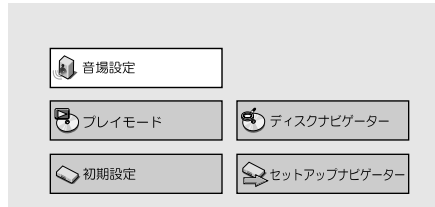
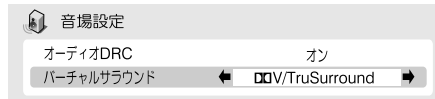
メインメニュー画面を表示する。または、操作 / 設定の途中で画面をオフにする

項目を選択 / 変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。

項目を決定する。

一つ前の画面に戻る。

1. 設定ボタンを押して、メインメニュー画面を表示させる

2. [音場設定]を選択して、決定する

3. [バーチャルサラウンド]の[DDV/TruSurround]、または[オフ]を⇦ ⇨ で選択して、決定する

オフ
働きません(**出荷時の設定**)。
DDV/TruSurround
立体音場(サラウンド)になります。

メモ

- **リモコンのサラウンドボタンでもバーチャルサラウンドの[DD V/ TruSurround]、または[オフ]を選択することができます。**
- **TruSurround* とバーチャルドルビーデジタルについて**
  バーチャルサラウンドをオンにすると、2 本のスピーカーのみで臨場感のあるサラウンド効果を楽しむことができます。特にドルビーデジタル音声を再生しているときは、SRS社のTruSurround技術によるバーチャルドルビーデジタルが働き、より広がりのある立体音場(3D サラウンド)が再現されます。

- バーチャルサラウンド機能は、デジタル音声にも効果があります。ただし、デジタル音声がドルビーデジタル、または MPEG 音声で出力されているときは効果がありません(デジタル音声出力の設定については **P.50-51** をご覧ください)。
- バーチャルサラウンド機能は、DTS、またはリニア PCM96kHz 音声には効果がありません。また、MP3 を再生しているときも効果がありません。
- ディスクによってはサラウンド効果の少ないものがあります。

* *TruSurround と(●)記号は SRS Labs,Inc. の商標です。TruSurround 技術は SRS Labs,Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。*

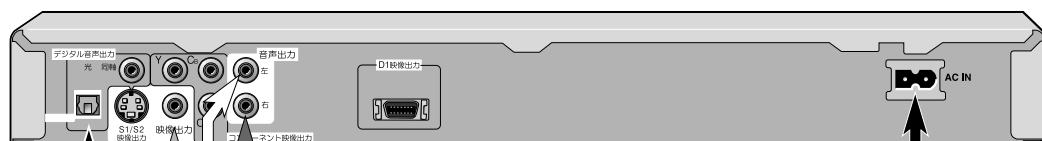
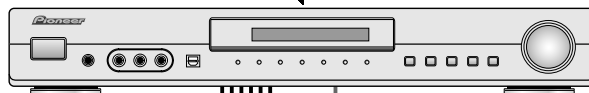
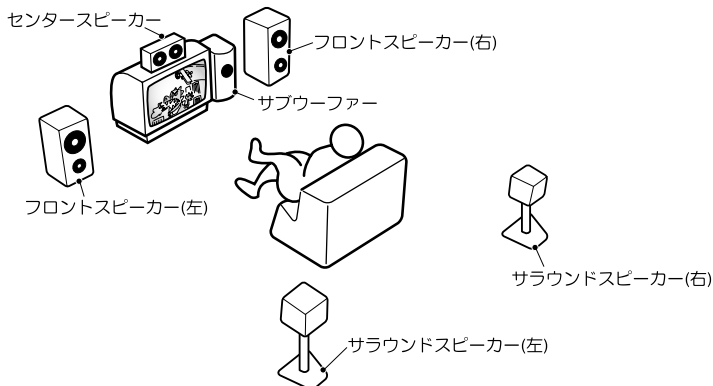
こんな接続のしかたもあります

DVD の 5.1ch サラウンドサウンドを楽しむための接続をしましょう

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

メモ

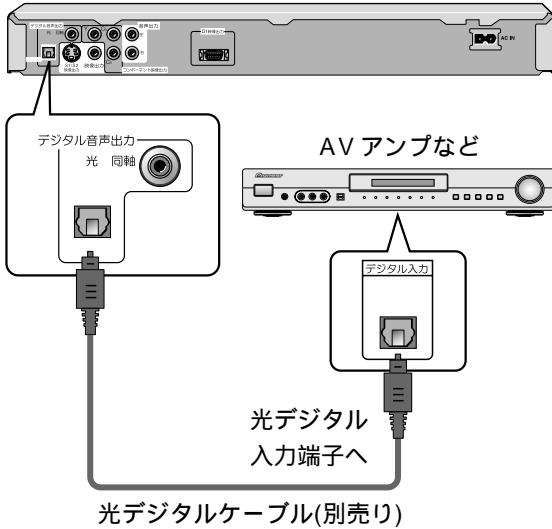
5.1ch サラウンドサウンドを楽しむために必要な機器は？

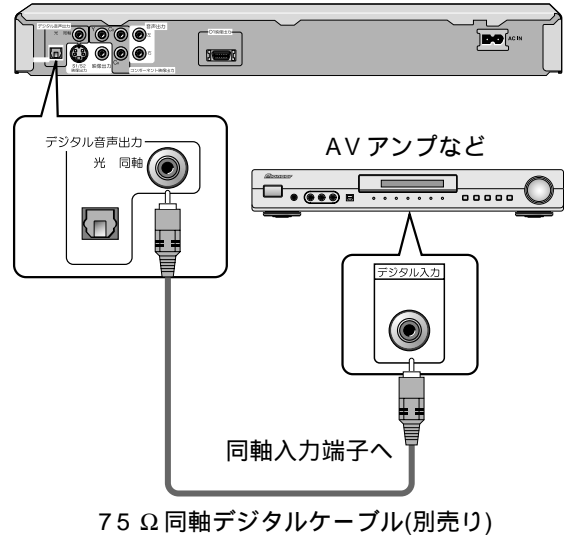
- ドルビーデジタル /DTS などのデジタル入力に対応した AV アンプ、またはデコーダー
- 5ch スピーカー（フロント左右 / センター / サラウンド左右）＋サブウーファー

さっそく DVD を見る
各部のなまえとはたらき
DVD の再生
MP3 の再生
ビデオ CD の再生
CD の再生
音場設定
接続
簡単設定
初期設定
基礎知識
付録

こんな接続のしかたもあります

デジタル音声入力端子のある機器と接続できます

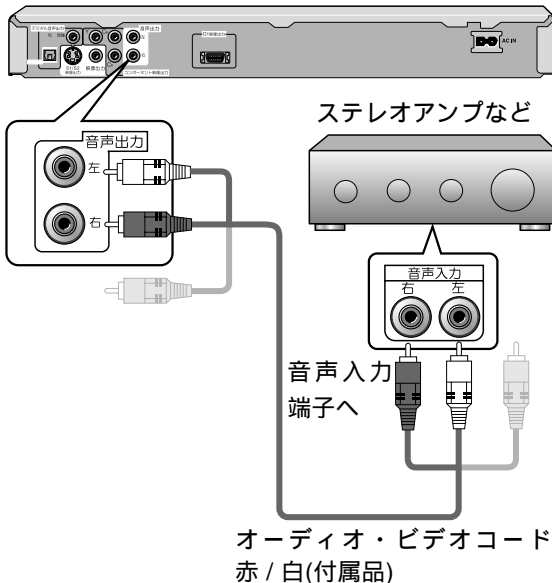
デジタル音声入力端子のある AV アンプやデジタル録音対応機器(MD、CD-R(CD レコーダー)、DAT など)とデジタル接続することができます。光デジタル端子と同軸デジタル端子に接続する2つの方法があります。

光デジタル音声入力端子のある機器と接続できます

別売りの光デジタルケーブルで接続します。

同軸デジタル音声入力端子のある機器と接続できます

別売りの同軸デジタルケーブルで接続します。

2ch アナログ音声入力端子やモノラル音声入力端子のある機器と接続できます

2ch アナログ音声入力端子と接続できます

付属のオーディオ・ビデオコードで接続します。

モノラル音声入力端子のあるテレビと接続できます

別売りのステレオ⇔モノラル音声ケーブルで接続します。

いろんな映像入力端子のあるテレビと接続できます

コンポーネント(Y/CB/CR)映像入力端子のあるテレビと接続できます

別売りのコンポーネント映像ケーブルで接続します。本機の高品位な映像品質を楽しむときにもっとも適した接続です。ハイビジョン対応のコンポーネント(Y/PB/PR)映像入力端子に接続することはできません。

S映像入力端子のあるテレビと接続できます

別売りのS映像ケーブルで接続します。付属のオーディオ・ビデオコードを使った接続より、高品位な映像です。初期設定画面で[S1]、または[S2]を切り換えることができます(**P.53**)。

D映像入力端子のあるテレビと接続できます

別売りのD映像ケーブルで接続します。専用ケーブル1本で、コンポーネント映像ケーブルを使った接続と同様の高品位な映像品質です。本機のD1端子は、接続するテレビのD1、D2、D3、またはD4のいずれの入力端子にも接続することができます。

セットアップナビゲーターで設定しましょう

ここでは本機とAVアンプを接続したときに必要な最低限の設定をします。本機では、セットアップナビゲーターで簡単に設定することができます。

よく使うボタン

メインメニュー画面を表示する。操作 / 設定の途中で画面をオフにする

項目を選択 / 変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。

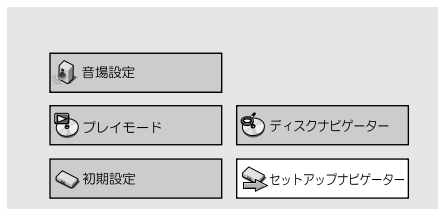
項目を決定する。

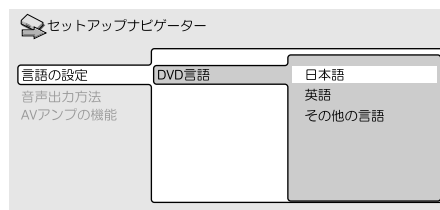
一つ前の画面に戻る。

セットアップナビゲーターを開始する

1. 設定ボタンを押してメインメニュー画面を表示させる

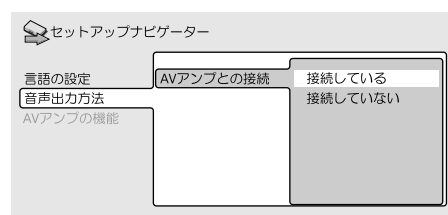
2. [セットアップナビゲーター]を選択して、決定する

ディスクを再生中にセットアップナビゲーターを選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

DVDに表示される言語を[日本語]にしますか？[英語]にしますか？それとも[その他の言語]にしますか？

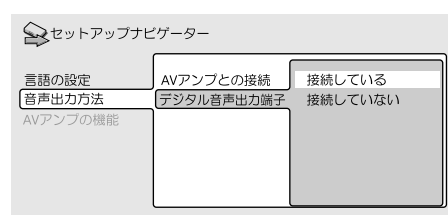
項目を選択して、決定する

[その他の言語] を選んだときは･･･

136言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは**P.55**の『***字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだときは･･･***』をご覧ください。

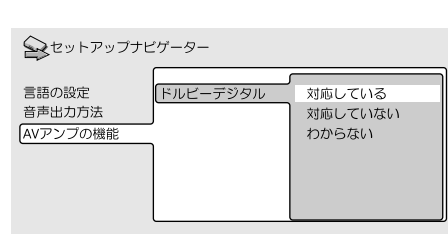
AVアンプに接続していますか？

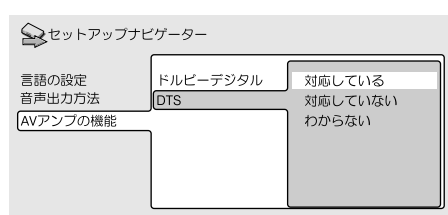
項目を選択して、決定する

- **[接続している]**を選択したときは『***デジタル音声出力端子に接続していますか？***』に進みます。
- **[接続していない]**を選択したときは『***セットアップナビゲーターを終了しましょう***』に進みます。

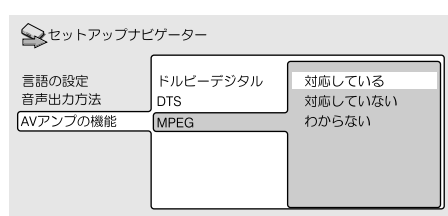
デジタル音声出力端子に接続していますか？

項目を選択して、決定する

- **[接続している]**を選択したときは『***ドルビーデジタルに対応していますか？***』に進みます。
- **[接続していない]**を選択したときは『***セットアップナビゲーターを終了しましょう***』に進みます。

ドルビーデジタルに対応していますか？

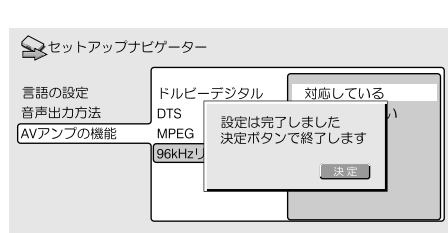
項目を選択して、決定する

DTSに対応していますか？

項目を選択して、決定する

MPEGに対応していますか？

項目を選択して、決定する

96kHzリニアPCMに対応していますか？

項目を選択して、決定する

セットアップナビゲーターを終了しましょう

決定する

デジタル音声出力の設定を変更したいとき

よく使うボタン

メインメニュー画面を表示する。操作 / 設定の途中で画面をオフにする

項目を選択 / 変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。

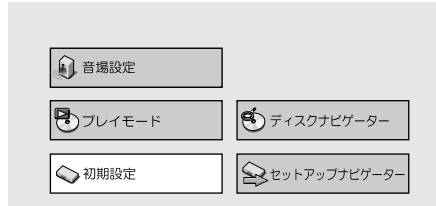
項目を決定する。

一つ前の画面に戻る。

デジタル出力端子から音声を出力しますか？

1. 設定ボタンを押して、メインメニューを表示させる

2. [初期設定]を選択して、決定する

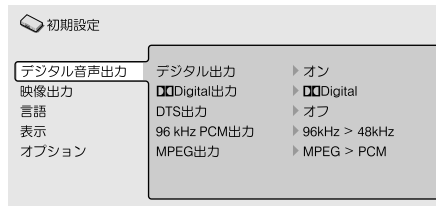
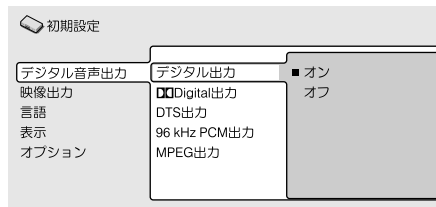
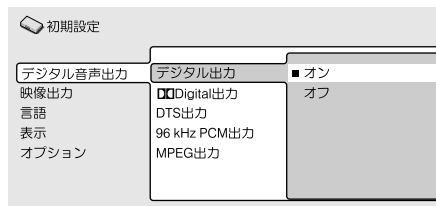
ディスクを再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

3. [デジタル音声出力]を選択して、カーソルを右へ移動する

初期設定

デジタル音声出力	デジタル出力	オン
映像出力	Digital出力	Digital
言語	DTS出力	オフ
表示	96 kHz PCM出力	96kHz > 48kHz
オプション	MPEG出力	MPEG > PCM

4. [デジタル出力]を選択して、カーソルを右へ移動する

初期設定

デジタル音声出力	デジタル出力	■ オン
映像出力	Digital出力	オフ
言語	DTS出力	
表示	96 kHz PCM出力	
オプション	MPEG出力	

5. [オン]、または[オフ]を選択して、決定する。

オン

本体後面のデジタル出力端子から音声を出力します**(出荷時の設定)**。

オフ

本体後面のデジタル出力端子から音声が出力されません。

接続しているAVアンプはドルビーデジタルに対応していますか？

Digital(出荷時の設定)
ドルビーデジタル対応アンプ、またはデコーダーと接続したときに選択します。

Digital > PCM
ドルビーデジタル信号をリニアPCM信号に変換して出力します。ドルビーデジタルに対応していないアンプと接続したときに選択します。

接続しているAVアンプはDTSに対応していますか？

DTS
DTS対応アンプ、またはデコーダーと接続したときに選択します。

オフ(出荷時の設定)
DTSに対応していないアンプと接続したときに選択します。

注意

DTSに対応していないアンプに接続しているときに[DTS]を選択するとノイズが発生することがあります。

接続しているAVアンプは96kHzに対応していますか？

96kHz > 48kHz(出荷時の設定)
96kHzの信号を48kHzに変換して出力します。96kHzに対応していないアンプと接続したときに選択します。

96kHz
96kHz対応アンプまたはデコーダーと接続したときに選択します。

「著作権保護されている」、および「96kHzリニアPCMで記録されている」DVDでは、96kHzの信号が自動的に48kHzに変換されます。このようなDVDを高音質のアナログ音声出力で楽しみたいときは、**[デジタル出力]**を**[オフ]**(**P.50**)に設定して、さらに**[96kHz PCM出力]**を**[96kHz]**に設定してください。

接続しているAVアンプはMPEGに対応していますか？

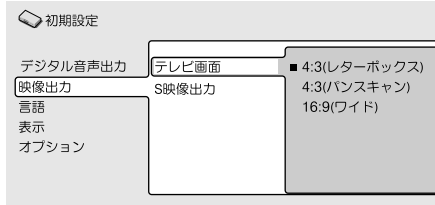
MPEG
MPEG対応アンプまたはデコーダーと接続したときに選択します。

MPEG > PCM(出荷時の設定)
MPEG信号をリニアPCM信号に変換して出力します。MPEGに対応していないアンプと接続したときに選択します。

映像出力の設定を変更したいとき

よく使うボタン

	メインメニュー画面を表示する。操作／設定の途中で画面をオフにする
	項目を選択／変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
	一つ前の画面に戻る。

テレビのサイズはワイド(16:9)ですか？従来サイズ(4:3)ですか？

4:3(レターボックス)(出荷時の設定)
従来サイズのテレビと接続し、レターボックス方式(下記)で見たいときに選択します。

4:3(パンスキャン)
従来サイズのテレビと接続し、パンスキャン方式(下記)で見たいときに選択します。**この設定はディスクが対応していないとできません。**

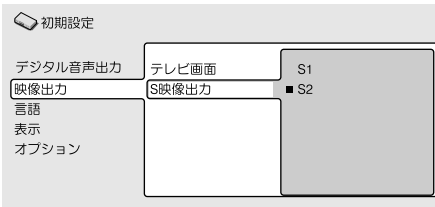
16:9(ワイド)
ワイド(16:9)テレビと接続したときに選択します。

お使いのテレビに合わせた[テレビ画面]の設定は･･･

お使いのテレビに合わせて、下記のように本機の**[テレビ画面]**の設定をしてください。

メモ

画面の比率(アスペクト比)の切り換えができないディスクもあります。ディスクのジャケットなどで確認してください。

S 映像端子から出力される映像信号を切り換えますか？

S 1

S 1 映像信号が出力されます。

S 2（出荷時の設定）

S 2 映像信号が出力されます。

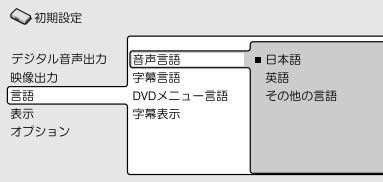
注意

本機とテレビを S 映像端子で接続しているとき、映像を横方向に引き伸ばしてしまうことがあります。このようなときは**[S 1]**を選択してください。

言語の設定を変更したいとき

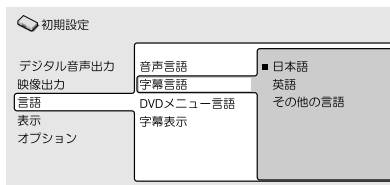
よく使うボタン

	メインメニュー画面を表示する。操作 / 設定の途中で画面をオフにする
	項目を選択 / 変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
	一つ前の画面に戻る。

音声言語を変更しますか？

日本語(出荷時の設定)
音声言語が日本語になります。
英語
音声言語が英語になります。
その他の言語
136 言語の中から任意の音声を選びます。詳しくは次のページの『***字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだときは･･･***』をご覧ください。

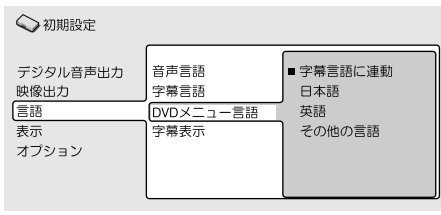
メモ

- ディスクによっては、ディスクで決められている音声の言語になることがあります。
- ディスクによっては、音声の言語をディスクメニューで選択するようになっています。このときは、リモコンの**メニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから音声の言語を選択してください。

字幕言語を変更しますか？

日本語(出荷時の設定)
日本語の字幕を表示します。
英語
英語の字幕を表示します。
その他の言語
136 言語の中から任意の字幕を選びます。詳しくは次のページの『***字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだときは･･･***』をご覧ください。

メモ

- ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。
- ディスクによっては、音声の言語をディスクメニューを使用して選択するようになっています。このときは、リモコンの**メニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選択してください。

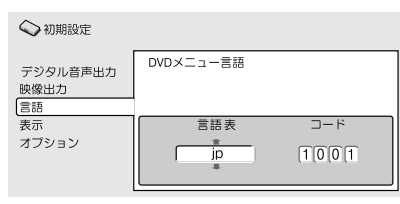
DVDのメニューに表示する言語を変更しますか？(DVDメニュー言語)

字幕言語に連動(出荷時の設定)
[字幕言語]で選択されている言語でメニュー画面が表示されます。
日本語
日本語でメニュー画面が表示されます。
英語
英語でメニュー画面が表示されます。
その他の言語
136言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは下記の『***字幕言語／音声言語／DVDメニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだときは･･･***』をご覧ください。

字幕言語／音声言語／DVDメニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだときは･･･

P.70の言語コード表を見ながら操作します。DVDに収録されていない言語を設定したときは、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。

1. [その他の言語]を選択して、決定する

例 DVDメニュー言語の場合

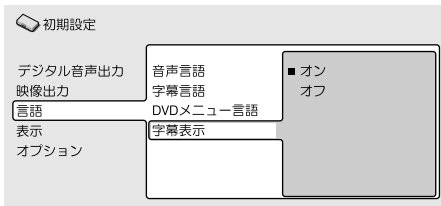
2. [言語表]、または[コード]を選択して、決定する
言語によってはコード番号しか表示されないものがあります。詳しくは言語コード表(**P.70**)をご覧ください。

[言語表]で言語を選ぶとき

例 フランス語を選ぶ場合
⇧を2回押します。

[コード]で言語を選ぶとき

下記のいずれかの操作をします。

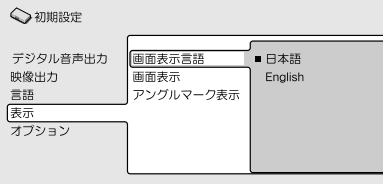
例 フランス語を選ぶ場合
- **数字ボタンの0, 6, 1, 8を押す。**
- **1ケタごとに⇧ ⇩で数字を選択する(⇦ ⇨でケタを移動します。)**

字幕を表示しないようにしますか？(字幕表示)

オン(出荷時の設定)
字幕を表示します。
オフ
字幕を表示しません。ただし、DVDの中には強制的に字幕を表示するものがあります。

表示の設定を変更したいとき

よく使うボタン

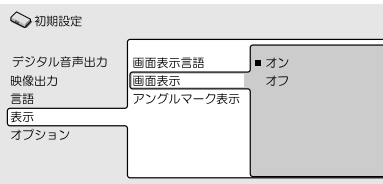
	メインメニュー画面を表示する。操作 / 設定の途中で画面をオフにする
	項目を選択 / 変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
	一つ前の画面に戻る。

画面に表示される言語を英語にしますか？(画面表示言語)

日本語(出荷時の設定)

画面に表示される言語が日本語になります。

English

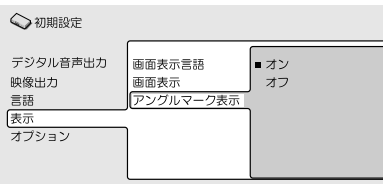
画面に表示される言語が英語になります。

画面に操作表示(「再生」、「停止」など)をしないようにしますか？(画面表示)

オン(出荷時の設定)

画面に操作表示をします。

オフ

画面に操作表示をしません。

アングルマーク( )を表示しないようにしますか？(アングルマーク表示)

オン(出荷時の設定)

画面に マークを表示します。

オフ

画面に マークを表示しません。

オプションの設定

よく使うボタン

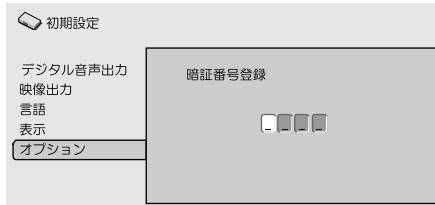
	メインメニュー画面を表示する。操作/設定の途中で画面をオフにする
	項目を選択/変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
	一つ前の画面に戻る。

視聴制限をしますか？

暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベルを設けたものがあります（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます）。本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。例えば、本機のレベルを6に設定しておくと、レベル7のディスクを再生することはできません。レベル7のディスクを再生するにはあらかじめレベルを7以上に設定しておく必要があります。この視聴制限は国ごとに異なる規制レベルにしたがって働く機能です。カントリーコードをあらかじめ設定しておくと、この「国ごとに異なる規制」が可能になります。

暗証番号を登録するには･･･

1. [オプション]➡[視聴制限]➡[暗証番号]を選択して、決定する

2. 数字(0 ～ 9)ボタンで4桁の暗証番号を入力して、決定する

メモ

- 暗証番号はメモしておくことをおすすめします。
- 暗証番号を忘れてしまったときは、出荷時の設定に戻して(**P.59**)、再度設定してください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生するものもあります。詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

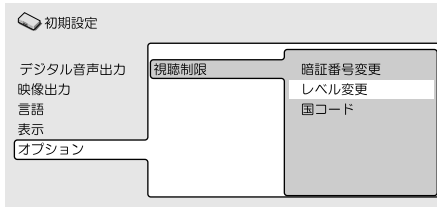
視聴制限できるDVDを再生するには･･･

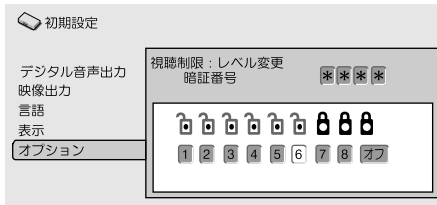
視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。このとき、暗証番号を入力しないと再生することができません。

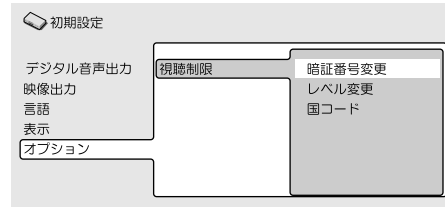
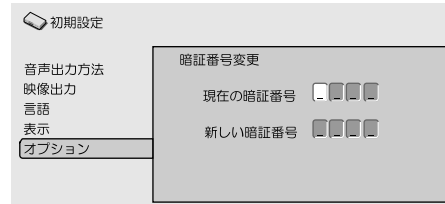
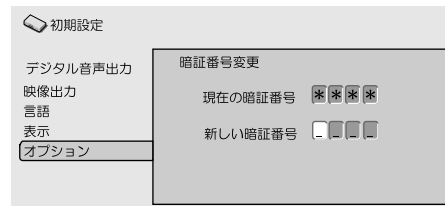
数字(0 ～ 9)ボタンで4桁の暗証番号を入力して、決定する

オプションの設定

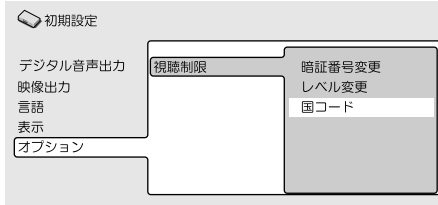
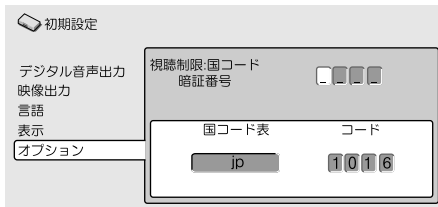
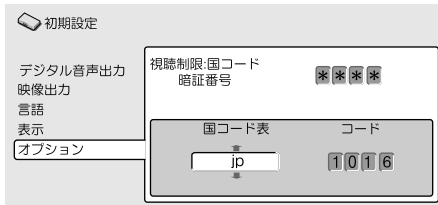
レベルを変更するには･･･

1. [レベル変更]を選択して、決定する

2. 数字(0〜9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力して、決定する

3. レベルを選択して、決定する

暗証番号を変更するには･･･

1. [暗証番号変更]を選択して、決定する

2. 数字(0〜9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力して、決定する

3. 数字(0 〜 9)ボタンで新しい暗証番号を入力して、決定する

国コードを変更するには･･･

P.70 の国コード表を見ながら操作します。

1. **[国コード]を選択して、決定する**

2. **数字(0〜9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力して、決定する**

3. **数字(0〜9)ボタンで[コード]、または⇧ ⇩で[国コード表]を入力して、決定する**

[国コード表]で変更するとき･･･

例 日本を選ぶ場合

⇧ ⇩で[jp]を選択する。

[コード]で変更するとき･･･

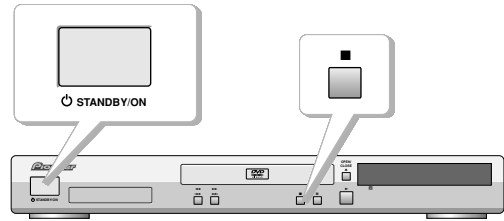
下記のいずれかの操作をします。

例 日本を選ぶ場合

- **数字(0 〜 9)ボタンの 1, 0, 1, 6 を押す。**
- **1ケタごとに⇧ ⇩で数字を選択する(⇦ ⇨でケタを移動します)。**

メモ

国コードを変更したときは、ディスクを一度取り出してください。再度ディスクをセットすると変更が有効になります。

設定した内容をすべて出荷時の状態に戻しますか？(初期化)

DV-353

1. **本機を待機状態(スタンバイ状態)にする**

電源が入っているときは、本体の⏻**STANDBY/ON ボタン**(またはリモコンの⏻**電源ボタン**)を押します。

2. **■ボタンを押しながら、⏻STANDBY/ONボタンを押す**

設定した内容がすべて出荷時の状態に戻ります。

注意

初期化すると、記憶していたすべてのメモリーが同時に消去されます。初期化する前は十分にご注意ください。

メモ

初期化すると P.6 の画面が表示されます。

読んでみてください！～基礎知識～

再生できるディスクについて

- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- 下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

再生できるディスクの種類とマーク		
DVD ビデオ		
ビデオ CD		
CD 	CD-R* 	CD-RW*
F-Disc(エフディスク) 	(株)フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたディスクです。	

本機で再生できないディスクの種類

- リージョンが**「2」「ALL」**以外のDVDビデオ
- DVDオーディオ
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- フォトCD
- CD-Gなど

DVD-R/DVD-RWディスクの再生について

- 本機ではDVDビデオフォーマットで記録されたDVD-R/DVD-RWディスクを再生することができます。
- **本機ではビデオレコーディングフォーマットで記録されたDVD-RWディスクは再生できません。**

*CD-R/CD-RWディスクの再生について

本機は音楽CDフォーマット、ビデオCDフォーマット、またはMP3の音楽データが記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。
※詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

MP3の再生について

- ISO9660CD-ROMファイルシステムに従って記録したディスクを使用してください。
- MPEG1オーディオレイヤー3のサンプリング周波数32kHz、44.1kHz、または48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは**[このフォーマットは再生できません]**と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)には対応していません(再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション(**P.66**)には対応していません。マルチセッションディスクのときは、最初のセッションのみ再生します。
- フォルダー/トラックの名前を表示することができます(半角英数字で入力された文字のみ)。半角英数字以外で入力されているフォルダー/トラックの名前は[F_001]/[T_001]のようにディスクナビゲーター、またはプログラムの画面に表示されます。また、本体表示窓にも半角大文字英数字以外を表示できないことがあります。
- フォルダー/総トラック数はそれぞれ250まで対応しています。251以降のフォルダー/トラックを再生することはできません。
- 音質的には、記録ビットレート128kbpsを推奨します。

注意

- レコーダー、またはパソコンで記録したDVD-R/DVD-RWディスク、CD-R/CD-RWディスクを再生できないことがあります（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください）。
- 本機はファイナライズしていない音楽CDフォーマットのCD-R/CD-RWディスクに対応しています。ただし、一部の時間情報が表示されないことがあります。音楽CDフォーマット以外のファイナライズしていないCD-R/CD-RWディスクを再生することはできません。ノイズが発生することがあります。
- 詳しいCD-R/CD-RWディスクの取扱いについては、ディスクの使用上の注意をご覧ください。
- ファイナライズしていないDVD-R/DVD-RWディスクを再生することはできません。

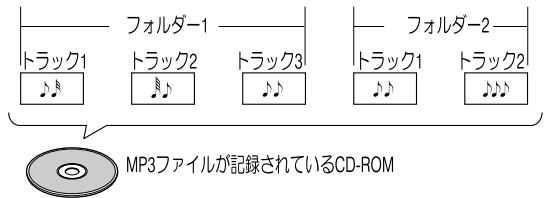
タイトルとチャプターについて

DVDではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています（DVDビデオにはメニュー映像が記録されているソフトがありますが、このメニュー映像はどのタイトルにも属していません）。
DVDビデオの映画ソフトなどでは、ふつう1つの映画が1つのタイトルに対応し、複数のチャプターで構成されています。また、カラオケソフトのように1曲が1タイトルとなっているディスクもありますし、このような区切りになっていないディスクもあります。

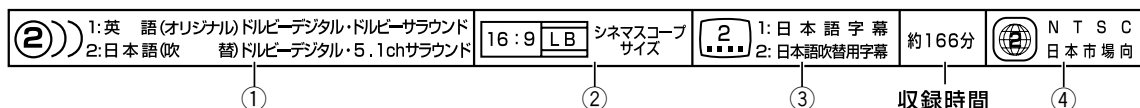
トラックについて

CDやビデオCDでは、ディスクをトラックという単位で分けています（一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。またさらに、トラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります）。

MP3について

MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。MP3ファイルが入っているフォルダーには「F_001、F_002･･･」、フォルダー内のファイルには「T_001、T_002･･･」というように自動的に番号をつけます。

DVD のディスクジャケットの表記について

DVDビデオのディスクレーベルやディスクジャケットにはいろいろなマークが表記されています。これらのマークの意味を知っておくと、そのディスクがどのように記録されているかを読みとることができます。また、そのマークによって、本機で再生中に利用できる機能も異なります。
ここでは、DVD ビデオのディスクジャケットに表記されているおもなマークをご紹介します。

DVD ビデオ(DVD-VIDEO)のディスクジャケットの例

①ディスクに記録されている**音声の数と種類・音声トラック方式**を示しています（音声の切り換えは**P.10, 54**をご覧ください)。
上記の場合、テレビにつないでいるときには、英語・日本語共に通常のステレオ音声として再生しますが、ドルビーデジタル対応のアンプをデジタル音声出力につないでいるときには、英語の場合はドルビーサラウンドで、日本語の場合は 5.1ch サラウンドで再生されます。

②再生可能な**テレビ画面サイズや見えかた**を示しています。このディスクの場合、16：9 の画面サイズの映像の左右が圧縮されて記録されおり、テレビの種類に合わせて本機の設定を合わせておくと、シネマスコープサイズの映像を楽しむことができます(**P.52**)。

③ディスクに記録されている**字幕の数**と**言語**などの種類を示しています(字幕の切り換えは**P.10, 54**をご覧ください)。
DVD ビデオでは最大 32 種類の字幕を記録することができます。

④ディスクの**地域番号(リージョンナンバー)**です。
DVD プレーヤーと DVD ビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号(リージョンナンバー)が設定されています。再生するディスクに記載された地域番号がプレーヤーに設定された番号を含まない場合、そのディスクを再生することはできません。本機(日本向け)の再生可能地域番号は 2 番で、ディスクに記載された地域番号が 2 番を含むか「ALL」となっている場合に再生が可能です。

その他のマーク

舞台中継やスポーツ中継などでは、複数台のカメラで撮影している場合がほとんどです。DVD ビデオでは、最大 9 つのカメラアングルで撮影された映像を同時に収録することができます。このマークが付いた DVD ビデオでは、同一場面を複数のアングルから見て楽しむことができます(**P.23**)。

メモ

DVD ビデオの音声タイプは、「ドルビーデジタル」、「DTS」、「リニア PCM」の 3 つが現在主流となっています。

ドルビー デジタルとは..* DOLBY DIGITAL

DVDの標準音声タイプのことです。モノラルやステレオで記録されているソフトもあれば、現在最も主流となっている 5.1ch サラウンドで記録されているソフトもあります。ドルビーデジタル(5.1ch サラウンド)で記録されているソフトとは、5つのチャンネルの個別にそれぞれのシーンに合った音声が記録されていて、サブウーファーから出力される低音も記録されているソフトのことを言います。本機をドルビーデジタル対応の AV アンプなどと接続してこのソフトを再生すると、臨場感あふれるマルチチャンネル再生をお楽しみ頂くことができます。

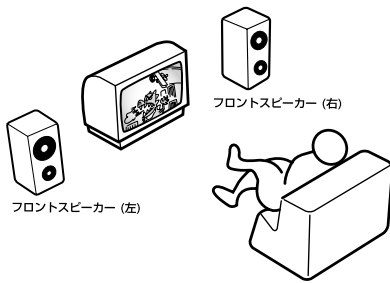
DTS** とは..

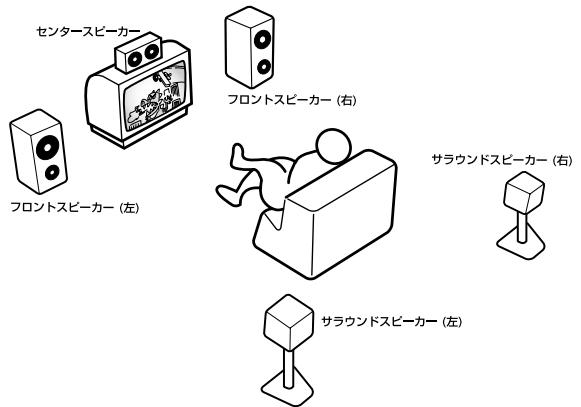
DTSとはデジタルシアターシステム(Digital Theater System)の略で、5.1chのデジタル・サラウンド録音再生方式です。これは最新のサラウンド方式で、DVDビデオのオプション音声タイプとして認められています。本機をDTS対応のAVアンプなどと接続すると、DTSデジタル・サラウンドで記録されたDVDソフトも、ドルビーデジタル(5.1ch サラウンド)で記録されているソフトと同様に5.1chで音声を楽しむことができます。

リニアPCM

音声の圧縮を行わない方式です。ミュージカルや音楽コンサートなどを収録したDVDビデオの場合によく使われます。48kHz/16bit、96kHzなどの表示があることもあります。

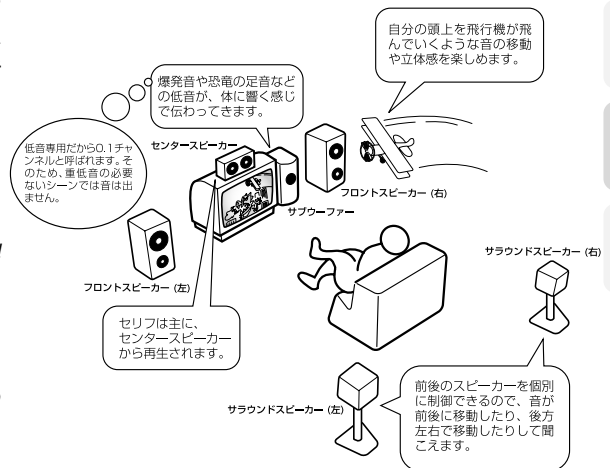
● **ステレオ再生とは..**

左右 2 つのスピーカーから別々の音声を再生することです。DVDビデオのステレオ音声や通常の音楽用CD(ステレオ2chで録音されています)は、5本のスピーカーとサブウーファーが接続されていても、音はフロントスピーカーからしか再生されません。

● **ドルビーサラウンド再生とは..**

ソフトのパッケージにドルビーサラウンド(DOLBY SURROUND)と表記されているソフトを、5本のスピーカーで再生することです。ただし、サラウンドスピーカーは左右同じ音(モノラル)で再生されます。

● **ドルビーデジタル 5.1ch または DTS サラウンド再生とは..**

ドルビーデジタル（5.1chサラウンド）またはDTSサラウンドで記録されているソフトを、5本のスピーカーとサブウーファーから、それぞれ別々の音で再生することです。5.1ch独立で音声が記録されているため、立体感のある音場で臨場感あふれる音声が楽しめます。

** ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。*
Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

***DTS は米国 Digital Theater Systems, Inc. の登録商標です。*

使用上の注意

本機を移動する場合

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出しディスクテーブルを閉じてください。さらに 本体の**⏻STANDBY/ONボタン**(またはリモコン の⏻**電源ボタン**)を押し、表示窓の**[-OFF-]**表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

設置する場所

- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムのそばの安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

次のような場所は避けてください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ホコリの多い所
- 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。

熱を受けないように

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

結露について

冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部やレンズ)に水滴が付きます(結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて 1 ～ 2 時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。

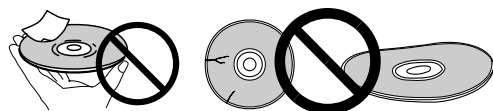
夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

ディスクの取り扱いかた

保管

- かならずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所･極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書はかならずお読みください。

ディスクの取り扱い

- ディスクに指紋やホコリが付いた場合、再生ができなくなることがあります。その場合、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。
- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー･帯電防止剤などは使用できません。
- 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。
- 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。
- ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生ができなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみだしている恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ディスクを 2 枚重ねて再生しないでください。
- ディスクの清掃には別売りのディスククリーニングセット(JV-D11)の使用をおすすめします。

特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク(ハート型や六角形等)は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びしたり画像が乱れたりすることがあります。このような場合は、『***保証とアフターサービス***』(**P.73**)をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

ディスクの結露について

冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります(結露)。ディスクが結露していると再生が正常にできない場合がありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

製品のお手入れについて

- 本体は通常、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で 5 ～ 6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭きとった後乾いた布で拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

用語解説

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビでは4：3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっています。臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

映像出力(コンポジット)
輝度信号(Y)と色信号(C)を混合して1本のコードで伝送できるようにした信号です。ただし、入力機器側で混合された輝度信号(Y)と色信号(C)を分離しなければなりません。この輝度信号(Y)と色信号(C)を分離するときの精度で画質の良さが決まります。

コンポーネント映像出力
Y/CB/CRの3つの信号からなり、コンポーネント入力付きのテレビと接続することにより、よりきれいな映像が得られる映像出力です。

視聴制限
暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベル（大小）が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しないかぎり再生ができなくなります。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。ダイナミックレンジは、デシベル(dB)単位で測定されます。
ダイナミックレンジを圧縮する(オーディオDRC)と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

光デジタル出力
音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものが光デジタル出力です(アンプなど、受け取り側は光デジタル入力になります)。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオCD(バージョン2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高/標準解像度の静止画も楽しむことができます。

マルチアングル
通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影した映像の1つを番組ディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っています。すべてのカメラの映像が同時に送られて視聴者側で視点(カメラ)を選べれば、見たい視点で映像が見られるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側で自由に選ぶことができます。

マルチ音声言語
DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVDでは音声を最大8言語(8ストリーム)まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語(サブタイトル)
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDでは字幕の言語を最大32カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチセッション
CD-RやCD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リージョン No.

DVD プレーヤーと DVD ディスクは発売地域ごとに地域番号(リージョンNo.)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョン No. は「2」です(本体後面部に表記されています)。

D 端子

デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号(Y/CB/CR)と映像信号のフォーマットを識別する制御信号を 1 つのコネクタで接続する端子です。

DVD ビデオフォーマット記録

、またはマークの付いている市販のDVDビデオディスクと同じ方式(フォーマット)で DVD-R/DVD-RWディスクに一筆書きのように記録することをいいます。
パイオニアのDVDレコーダー(DVR-2000、またはDVR-7000 など)ではこれをビデオモード記録といいます。ビデオモードには、「V1」とよばれる高画質で録画するモード(録画時間：１時間)と、「V2」とよばれる長時間で録画するモード(録画時間：2 時間)があります。

F-Disc（エフディスク）

8mmフィルムで撮った映像をDVDディスクに記録したものです。

お問い合わせ先：
(株) フジカラーサービス
コンシューマーフォト部
電話：03-5571-5333

GUI

Graphical User Interface の略です。画面にメニューを表示し、それを操作することでより使いやすい環境を提供します。

MP3

MP3 とは、MPEG1 オーディオレイヤー 3 というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。拡張子とは、OS やアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号です。ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。

MPEG

Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。DVD の映像やビデオ CD の映像 / 音声は、この方式で記録されています。DVD の中には、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

S1 映像出力

S1とは映像のアスペクト比(4:3、16:9)との識別信号の入った S 映像信号です。

S2 映像出力

S 1 に加え画像信号形態(レターボックス、パンスキャン)の識別信号の入った S 映像信号です。S2 対応のワイドテレビでは、適切な映像モードに自動的に切り換わります。

3/2.1CH

3/2.1 はディスクに記録されているチャンネル数を表わしています。

例 5.1CH の場合

- フロントチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- センターチャンネル[(1CH)]
- サラウンドチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- LFE*1 チャンネル[1CH × 0.1*2 ＝ 0.1CH]

***1:** 重低音強調効果の意
***2:** 音声全体に対して低音が占める割合

GUI 画面には下記のように表示されます。

付録

Q&A

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビ、AVアンプまたはスピーカーなども合わせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店またはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。

症状	原因 / 対策	参照ページ
設定した内容が消えてしまった。	本機の電源が入っているとき、強制的に電源コードを抜く、または停電などが起きると、設定した内容が消えてしまうことがあります。電源コードは、必ず本体の⏻**STANDBY/ONボタン**、またはリモコンの⏻**電源ボタン**を押して、表示窓の[**-OFF-**]表示が消えてから抜いてください。特に他機器のACアウトレットに電源コードを接続しているときはご注意ください。接続している機器の電源と連動して本機の電源が切れます。電源コードは、なるべく壁などのコンセントに接続することをおすすめします。	
画面が止まり、本体やリモコンのボタン操作を受け付けなくなってしまった。	■**ボタン**を押してから、もう一度再生してください。	
DTS音声が出力されない。	• DTS音声対応アンプ、またはデコーダーをお持ちでないときはDTS音声を再生することはできません。ディスクのメニュー画面、またはリモコンの**音声ボタン**でDTS以外の音声を選んでください。	8, 10
	• 本機とDTS音声に対応していないアンプ、またはデコーダーをデジタル音声ケーブルで接続しているときは[**DTS出力**]の設定を[**オフ**]にしてください。ノイズが発生することがあります。	49, 51
	• DTS音声対応アンプ、またはデコーダーと接続しているときは、アンプの設定、およびデジタル音声ケーブルが正しく接続しているか確認してください。	46, 49-51
画面に[**DTS DIGITAL OUT OFF**]と表示された。	DTS音声対応アンプ、またはデコーダーと接続しているときは、[**デジタル出力**]、および[**DTS出力**]の設定を[**オン**]にしてください。DTS音声対応アンプ、またはデコーダーをお持ちでないときはDTS音声を再生することはできません。ディスクのメニュー画面、またはリモコンの**音声ボタン**でDTS以外の音声を選んでください。	10, 49-51
音が歪んでしまう。	• 本機の音声出力端子、または接続したテレビやAVアンプなどの音声入力端子に音声ケーブルが正しく差し込まれていますか？または、外れていませんか？ • オーディオ・ビデオコード(赤/白)のプラグや本機の音声出力端子、または接続したテレビやAVアンプなどの音声入力端子が汚れていたら拭いてください。	5, 45-46

スピーカーから音が出ない。	• デジタル接続しているときは[**デジタル出力**]の設定を[**オン**]にしてください。 • [**デジタル音声出力**]の設定により、音が出ないことがあります。 • ディスクが汚れていませんか？ • 一時停止、コマ送り、またはスローなどの再生をしていませんか？ • 接続したテレビやAVアンプなどの音量が最小になっていませんか？	49-50 49-51 9, 18, 25, 30, 32, 38
画面が縦または横に伸びている。	• 接続したテレビに合わせて[**テレビ画面**]の設定をしてください。 • 本機とテレビを S 映像端子で接続しているとき、テレビ側の信号処理により映像が横方向に伸びてしまうことがあります。このときは[**S 映像出力**]の設定を[**S 1**]にしてください。	52 53
DVD と CD で音量差を感じる。	ディスクの記録方式の違いにより音量に差があります。	
DVD再生中に画像が乱れる、または暗い。	本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っています。そのようなディスクを再生したとき、画像の一部に横縞が入るなどの症状が出るものもありますが、故障ではありません。	
DVD 映像を VTR に録画したり、VTR を通して再生すると再生画面が乱れる。	本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っています。そのようなディスクをVTRを通して、またはVTRに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。	
本機をビデオ内蔵テレビに接続してDVDを再生すると映像が乱れる。	ビデオ内蔵テレビの機種によっては、コピーガードの働きにより正常に再生されないことがあります。詳しくは、お使いのテレビメーカーにお問い合わせください。	
テレビなどが誤動作する。	ワイヤレスリモコン機能を持つテレビが、本機のリモコン信号により誤動作することがあります。本機と離して設置してご使用ください。	
勝手に電源が切れる。	ディスクを再生していない(ディスクテーブルが閉まっている状態)で 30 分以上、本体またはリモコンの操作をしないと、電源が自動的にスタンバイ状態になります(オートパワーオフ機能)。再度電源を入れてください。	

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、お買い上げの販売店または最寄りのサービスステーションにご相談ください。

言語コード表

言語名(言語コード), **入力コード**

Japanese (ja), **1001**
English (en), **0514**
French (fr), **0618**
German (de), **0405**
Italian (it), **0920**
Spanish (es), **0519**
Chinese (zh), **2608**
Dutch (nl), **1412**
Portuguese (pt), **1620**
Swedish (sv), **1922**
Russian (ru), **1821**
Korean (ko), **1115**
Greek (el), **0512**
Afar (aa), **0101**
Abkhazian (ab), **0102**
Afrikaans (af), **0106**
Amharic (am), **0113**
Arabic (ar), **0118**
Assamese (as), **0119**
Aymara (ay), **0125**
Azerbaijani (az), **0126**
Bashkir (ba), **0201**
Byelorussian (be), **0205**
Bulgarian (bg), **0207**
Bihari (bh), **0208**
Bislama (bi), **0209**
Bengali (bn), **0214**
Tibetan (bo), **0215**
Breton (br), **0218**
Catalan (ca), **0301**
Corsican (co), **0315**
Czech (cs), **0319**
Welsh (cy), **0325**
Danish (da), **0401**
Bhutani (dz), **0426**
Esperanto (eo), **0515**
Estonian (et), **0520**
Basque (eu), **0521**
Persian (fa), **0601**
Finnish (fi), **0609**
Fiji (fj), **0610**
Faroese (fo), **0615**
Frisian (fy), **0625**
Irish (ga), **0701**
Scots-Gaelic (gd), **0704**
Galician (gl), **0712**
Guarani (gn), **0714**
Gujarati (gu), **0721**
Hausa (ha), **0801**
Hindi (hi), **0809**
Croatian (hr), **0818**
Hungarian (hu), **0821**
Armenian (hy), **0825**
Interlingua (ia), **0901**
Interlingue (ie), **0905**
Inupiak (ik), **0911**
Indonesian (in), **0914**
Icelandic (is), **0919**
Hebrew (iw), **0923**
Yiddish (ji), **1009**
Javanese (jw), **1023**
Georgian (ka), **1101**
Kazakh (kk), **1111**
Greenlandic (kl), **1112**
Cambodian (km), **1113**
Kannada (kn), **1114**
Kashmiri (ks), **1119**
Kurdish (ku), **1121**
Kirghiz (ky), **1125**
Latin (la), **1201**
Lingala (ln), **1214**
Laothian (lo), **1215**
Lithuanian (lt), **1220**
Latvian (lv), **1222**
Malagasy (mg), **1307**
Maori (mi), **1309**
Macedonian (mk), **1311**
Malayalam (ml), **1312**
Mongolian (mn), **1314**
Moldavian (mo), **1315**
Marathi (mr), **1318**
Malay (ms), **1319**
Maltese (mt), **1320**
Burmese (my), **1325**
Nauru (na), **1401**
Nepali (ne), **1405**
Norwegian (no), **1415**
Occitan (oc), **1503**
Oromo (om), **1513**
Oriya (or), **1518**
Panjabi (pa), **1601**
Polish (pl), **1612**
Pashto, Pushto (ps), **1619**
Quechua (qu), **1721**
Rhaeto-Romance (rm), **1813**
Kirundi (rn), **1814**
Romanian (ro), **1815**
Kinyarwanda (rw), **1823**
Sanskrit (sa), **1901**
Sindhi (sd), **1904**
Sangho (sg), **1907**
Serbo-Croatian (sh), **1908**
Sinhalese (si), **1909**
Slovak (sk), **1911**
Slovenian (sl), **1912**
Samoan (sm), **1913**
Shona (sn), **1914**
Somali (so), **1915**
Albanian (sq), **1917**
Serbian (sr), **1918**
Siswati (ss), **1919**
Sesotho (st), **1920**
Sundanese (su), **1921**
Swahili (sw), **1923**
Tamil (ta), **2001**
Telugu (te), **2005**
Tajik (tg), **2007**
Thai (th), **2008**
Tigrinya (ti), **2009**
Turkmen (tk), **2011**
Tagalog (tl), **2012**
Setswana (tn), **2014**
Tonga (to), **2015**
Turkish (tr), **2018**
Tsonga (ts), **2019**
Tatar (tt), **2020**
Twi (tw), **2023**
Ukrainian (uk), **2111**
Urdu (ur), **2118**
Uzbek (uz), **2126**
Vietnamese (vi), **2209**
Volapük (vo), **2215**
Wolof (wo), **2315**
Xhosa (xh), **2408**
Yoruba (yo), **2515**
Zulu (zu), **2621**

国コード表

国名, **入力コード, 国コード**

アメリカ, **2119, us**
アルゼンチン, **0118, ar**
イギリス, **0702, gb**
イタリア, **0920, it**
インド, **0914, in**
インドネシア, **0904, id**
オーストラリア, **0121, au**
オーストリア, **0120, at**
オランダ, **1412, nl**
カナダ, **0301, ca**
韓国, **1118, kr**
シンガポール, **1907, sg**
スイス, **0308, ch**
スウェーデン, **1905, se**
スペイン, **0519, es**
タイ, **2008, th**
台湾, **2023, tw**
中国, **0314, cn**
チリ, **0312, cl**
デンマーク, **0411, dk**
ドイツ, **0405, de**
日本, **1016, jp**
ニュージーランド, **1426, nz**
ノルウェー, **1415, no**
パキスタン, **1611, pk**
フィリピン, **1608, ph**
フィンランド, **0609, fi**
ブラジル, **0218, br**
フランス, **0618, fr**
ベルギー, **0205, be**
ポルトガル, **1620, pt**
香港, **0811, hk**
マレーシア, **1325, my**
メキシコ, **1324, mx**
ロシア, **1821, ru**

索引

初期設定一覧

本機では、画面表示にＮＥＣのフォント「Ｆｏｎｔ Avenue」を使用しています。
Font Avenue は NEC の登録商標です。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低８年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買い上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションをご利用ください。所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

P.74-75 に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店、またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所　「付近の目印も合わせてお知らせください」
- お名前
- お電話番号
- 製品名　DVD プレーヤー
- 型番　DV-353/DV-F350
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容　「できるだけ具体的に」「ディスクのタイトル」
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標(建物・公園など)

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

仕様

形式 ………… DVDプレーヤー
電源 ………… AC 100 V、50/60 Hz
消費電力 ………… 12 W
0.25W(待機時)
本体質量 ………… 2.4 kg
外形寸法
DV-353 …… 420(幅)×278(奥行)×55(高さ)mm
DV-F350 … 420(幅)×276(奥行)×55(高さ)mm
許容動作温度 ………… ＋5℃〜＋35℃
許容動作湿度 ………… 5%〜85%(結露のないこと)

S1/S2映像出力
Y出力レベル ………… 1 Vp-p(75Ω)
C出力レベル ………… 286 mVp-p(75Ω)
出力端子 ………… S端子

映像出力
出力レベル ………… 1 Vp-p(75Ω)
出力端子 ………… RCA端子

コンポーネント映像出力(Y/CB/CR)
Y出力レベル ………… 1 Vp-p(75Ω)
CB/CR出力レベル ………… 0.7 Vp-p(75Ω)
出力端子 ………… RCA端子

D1映像出力(Y/CB/CR)
Y出力レベル ………… 1 Vp-p(75Ω)
CB/CR出力レベル ………… 0.7 Vp-p(75Ω)
出力端子 ………… D端子

音声出力
音声出力レベル …. 200 mVrms(1kHz、−20dB)
チャンネル数 ………… 2
出力端子 ………… RCA端子
周波数特性 ………… 4 Hz〜44 kHz(DVD、96 kHz)
S/N比 ………… 118 dB
ダイナミックレンジ ………… 105 dB
全高調波歪率 ………… 0.0016 %
ワウ・フラッター ………… 測定限界以下
(±0.001%W.PEAK)(EIAJ)

デジタル音声出力
光デジタル出力 ………… 光デジタル端子
同軸デジタル出力 ………… RCA端子

付属品
オーディオ・ビデオコード ………… 1式
電源コード ………… 1
リモコン ………… 1
単3形乾電池(R6P) ………… 2
取扱説明書、保証書 ………… 各1
安全上のご注意 ………… 1
接続設定案内(DV-F350のみ) ………… 1

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

修理のご相談 / 修理についてのお問い合わせ窓口

パイオニア製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理についてはお買い求めの販売店へご依頼ください。万一お困りの場合は、窓口(裏表紙)へご相談くださるようお願いいたします。

サービスステーションリスト

サービスステーションへの電話は、修理受付センター(裏表紙)でお受けします。
(沖縄県の方は沖縄サービスステーション(裏表紙)でお受けします)

●北海道地区			受付　月～金　9：30～18：00（土・日・祝・弊社休日は除く）	
札幌サービスセンター	FAX	011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北２条西 20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX	0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町１条１丁目 438-89
帯広サービス認定店	FAX	0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西５条南 28 丁目 1-1
函館サービス認定店	FAX	0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町 2-18-7

●東北地区			受付　月～金　9：30～18：00（土・日・祝・弊社休日は除く）	
仙台サービスステーション	FAX	022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈石田 20
山形サービス認定店	FAX	023-615-1627	〒990-0023	山形市松波 1-8-17
盛岡サービスステーション	FAX	019-659-3165	〒020-0051	盛岡市下太田下川原 153-1
青森サービス認定店	FAX	017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田 2-16-10
八戸サービス認定店	FAX	0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野 4-3-34
秋田サービス認定店	FAX	018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目 346-1
郡山サービスステーション	FAX	024-939-1372	〒963-8861	郡山市鶴見坦 1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第２ビル

●関東・甲信越地区			受付　月～土　9：30～18：00（日・祝・弊社休日は除く）	
世田谷サービスステーション	FAX	03-3419-4234	〒155-0032	世田谷区代沢 4-25-9
墨田サービスステーション	FAX	03-3621-7610	〒130-0011	墨田区石原 4-27-9　中島 IC ハイツ 1F
城北サービスステーション	FAX	03-3550-3625	〒175-0083	板橋区徳丸 4-11-14
多摩サービスステーション	FAX	042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町 4-18-1　エクセル立川１Ｆ
高崎サービスステーション	FAX	027-322-8978	〒370-0851	高崎市上中居町 45-2
足利サービス認定店	FAX	0284-42-4376	〒326-0058	足利市元学町 831
新潟サービスステーション	FAX	025-241-1879	〒950-0913	新潟市鐙 1-5-23
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX	0259-63-3400	〒952-1209	佐渡郡金井町千種 1158-1
千葉サービスセンター	FAX	043-207-2555	〒263-0015	千葉市稲毛区作草部 1369-1　椎の実ハイツ 1F
つくばサービス認定店	FAX	0298-58-1369	〒305-0045	つくば市梅園 2-2-6
水戸サービス認定店	FAX	029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町 307-4
埼玉サービスセンター	FAX	048-651-8030	〒330-0038	さいたま市宮原町 1-310-1
川越サービス認定店	FAX	049-233-6581	〒350-0804	川越市下広谷 1128-11
宇都宮サービス認定店	FAX	028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町 3373-1
神奈川サービスセンター	FAX	045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
横浜北サービス認定店	FAX	045-943-3155	〒224-0036	横浜市都筑区勝田南 1-19-17
厚木サービス認定店	FAX	046-224-7724	〒243-0807	厚木市金田 339-1　金田コーポフロンテア 201
三宅島サービス指定店　勝見電機	TEL	04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービスステーション	FAX	026-326-3122	〒390-0842	松本市征矢野 2-8-7
長野サービス認定店	FAX	026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所 1-24
甲府サービス認定店	FAX	055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田 4-9-14

●中部地区			受付　月～金　9：30～18：00（土・日・祝・弊社休日は除く）	
名古屋サービスセンター	FAX	052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切 2-8-18
津サービス認定店	FAX	059-213-6712	〒514-0821	津市垂水 522-5
岡崎サービス認定店	FAX	0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1　大和ビレッジ　B-1
岐阜サービス認定店	FAX	058-274-5256	〒500-8356	岐阜市六条江東 1-1-3
静岡サービスステーション	FAX	054-237-5691	〒422-8034	静岡市高松 1-6-5
沼津サービス認定店	FAX	0559-21-9050	〒410-0058	沼津市沼北町 1-14-26
浜松サービス認定店	FAX	053-422-1401	〒435-0042	浜松市篠ヶ瀬町 415　ビラモデルナ５号
金沢サービスステーション	FAX	076-291-6425	〒921-8005	金沢市間明町 1-130
富山サービス認定店	FAX	076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町 1-7-1
福井サービス認定店	FAX	0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺 3-5-9

●関西地区			受付　月～金　9：30～18：00　（土・日・祝・弊社休日は除く）
大阪サービスセンター	FAX	06-6353-1145	〒530-0035　大阪市北区同心 2-1-26
大阪南サービス認定店	FAX	0722-75-2625	〒593-8322　堺市津久野町 1-8-15　ローズマンション 1F
大阪北サービス認定店	FAX	06-6453-5666	〒531-0076　大阪市北区大淀中 3-9-4
奈良サービス認定店	FAX	0742-36-8713	〒630-8132　奈良市大森西町 21-26
和歌山サービス認定店	FAX	0734-46-3026	〒641-0021　和歌山市和歌浦東 3-1-25
京滋サービスステーション	FAX	075-682-7176	〒601-8448　京都市南区西九条豊田町 24-1
福知山サービス認定店	FAX	0773-24-5375	〒620-0055　福知山市篠尾新町 2-74　カマハチマンション
神戸サービスステーション	FAX	078-251-7173	〒651-0086　神戸市中央区磯上通り 5-1-13
姫路サービス認定店	FAX	0792-51-2656	〒671-0251　姫路市花田町上原田 30-4

●中国地区			受付　月～金　9：30～18：00　（土・日・祝・弊社休日は除く）
広島サービスステーション	FAX	082-227-4866	〒730-0013　広島市中区八丁堀 2-31　鴻池ビル
徳山サービス認定店	FAX	0834-33-5759	〒745-0006　徳山市花畠町 3-11　森広事務所 1F
福山サービス認定店	FAX	0849-31-2791	〒720-0815　福山市野上町 3-12-9
岡山サービスステーション	FAX	086-276-1927	〒703-8282　岡山市平井 3-1078-6
松江サービス認定店	FAX	0852-22-7779	〒690-0017　松江市西津田 4-5-40　(有）テクピット内
鳥取サービス認定店	FAX	0857-29-1290	〒680-0061　鳥取市立川町 5-240-1

●四国地区			受付　月～金　9：30～18：00　（土・日・祝・弊社休日は除く）
高松サービスステーション	FAX	087-861-4841	〒760-0014　高松市昭和町 1-3-33　大商ビル
徳島サービス認定店	FAX	088-669-6076	〒770-8023　徳島市勝占町中須 92-1　大松ジョリカＢ 103 号
高知サービス認定店	FAX	088-802-3321	〒780-0051　高知市愛宕町 3-12-13　晃栄ビル１Ｆ
松山サービス認定店	FAX	089-951-6270	〒791-8067　松山市古三津 5-10-35　商船ビル１Ｆ

●九州地区			受付　月～金　9：30～18：00　（土・日・祝・弊社休日は除く）
福岡サービスステーション	FAX	092-412-7460	〒812-0016　福岡市博多区博多駅南 2-12-3
博多サービス認定店	FAX	092-461-1643	〒812-0006　福岡市博多区上牟田 2-6-7
長崎サービス認定店	FAX	095-849-4606	〒852-8145　長崎市昭和１丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX	096-331-3323	〒862-0918　熊本市花立５丁目 14-17
大分サービス認定店	FAX	097-549-2420	〒870-0889　大分市大石町５丁目 1-1
北九州サービスステーション	FAX	093-951-1748	〒802-0011　北九州市小倉北区重住 3-1-20
鹿児島サービスステーション	FAX	099-224-7692	〒892-0841　鹿児島市照国町 3-21　第二大見ビル２Ｆ
宮崎サービス認定店	FAX	0985-27-3132	〒880-0821　宮崎市浮城町 98-1

●沖縄地区			受付　月～金　9：30～18：00　（土・日・祝・弊社休日は除く）
沖縄サービスステーション	TEL	098-879-1910	〒901-2122　浦添市勢理客4-18-1　トヨタマイカーセンター３Ｆ
	FAX	098-879-1352	

修理窓口・ご相談窓口の名称・所在地・電話番号は変更することがございますのでご了承ください。

愛情点検

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか?
- **電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。**
- **電源コードにさけめやひび割れがある。**
- **電気が入ったり切れたりする。**
- **本体から異常な音、熱、臭いがする。**

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または、お近くのパイオニアサービスステーションに点検(有料)をご依頼ください。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

● パイオニア・カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付　月曜～金曜　9：30～17：00、土曜　9：30～12：00、13：00～17：00　（日曜・祝日・弊社休日は除く）

家庭用オーディオ／ビジュアル製品のご相談窓口　：　フリーフォン **0070-800-8181-22**

カタログのご請求窓口　：　フリーフォン **0077-800-8181-33**

ファックス　：　**03-3490-5718**

<ご注意>
フリーフォンは、ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

パイオニアホームページでのご案内

お問い合わせ先のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/*

カタログ請求とメールサービス登録のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html*

部品のご購入についてのご相談窓口

付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入や、補修用性能部品（修理使用部品）に関するご相談についてはパイオニア部品受注センターにご相談ください。部品の交換方法などの技術相談につきましては下記のパイオニア修理受付センターにご相談ください。

● パイオニア部品受注センター

受付　月曜～金曜　9：30～18：00、土曜　9：30～12：00、13：00～17：00　（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話（フリーダイアル）　：　**0120-5-81095**

一般電話　：　**0538-43-1161**

ファックス（フリーダイアル）：　**0120-5-81096**

<ご注意>
フリーダイアルは、携帯電話、ＰＨＳではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

修理のご依頼／修理についてのご相談窓口

修理を依頼される前に取扱説明書の「故障？ちょっと調べてください」または「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。それでも異常のある時は、必ず電源プラグを抜いてから、ご購入店へご連絡ください。
ご購入店がわからないときやお近くにないときは、パイオニア修理受付センターへご相談ください。（沖縄県を除く）

● パイオニア修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付　月曜～金曜　9：30～18：00、土曜　9：30～12：00、13：00～17：00　（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話（フリーダイアル）　：　**0120-5-81028**（ゴー パイオニア）

一般電話　：　**03-5496-2023**

ファックス（フリーダイアル）：　**0120-5-81029**

<ご注意>
フリーダイアルは、携帯電話、ＰＨＳではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

● 沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付　月曜～金曜　9：30～18：00　（土曜・日曜・祝日・弊社休日は除く）

一般電話　：　**098-879-1910**

ファックス　：　**098-879-1352**

パイオニア株式会社　〒153-8654　東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<TWKZC/02B00001>

<VRA1210-C>